

御 殿 場 市

社 協 活 動

(令和6年度報告・令和7年度計画)



『社会福祉協議会シンボルマーク』

社会福祉及び「社」を図案化し、「手を取りあって、
明るいまあわせな社会を建築する姿」を具現化して
います。(昭和47年6月制定/全国社会福祉協議会)

ふれあいネットワーク

社会福祉法人
御殿場市社会福祉協議会

社会福祉協議会は住民のみなさまと共に福祉を推進する民間組織です。

目 次

I	社会福祉協議会の組織・機構	1
II	令和6年度決算の状況	2
III	令和6年度事業実績	7
	1 組織の強化と財政基盤の確立	7
	2 第5次地域福祉活動計画推進	11
	3 調査研究活動	12
	4 啓発活動の推進	12
	5 児童福祉活動	18
	6 低所得者世帯・羅災世帯への福祉活動	21
	7 生活困窮者自立相談支援事業	23
	8 高齢者生活支援体制整備事業	27
	9 高齢者福祉活動	37
	10 福祉車両及び福祉機器等貸出事業	38
	11 地域包括支援センター事業(菜の花)	39
	12 居宅介護支援事業(ケアプラン作成事業)	42
	13 訪問介護事業(ホームヘルプサービス事業)	43
	14 通所介護事業(老人デイサービスセンター事業)	46
	15 心身障害児(者)福祉活動	48
	16 御殿場市民交流センター「ふじざくら」指定管理事業	49
	17 日常生活自立支援事業	52
	18 成年後見事業(御殿場市成年後見支援センター事業)	54
	19 母子父子福祉活動	56
	20 地域福祉活動	56
	21 ボランティア活動	74
	22 災害時の支援活動	78
	23 福祉団体との連携	80
	24 福祉教育の推進	82
	25 ふれあい福祉相談	86
	26 共同募金運動の推進	88
	27 団体活動の支援	90
	28 その他	94
IV	令和7年度事業計画	97
V	令和7年度予算の状況	111
VI	社会福祉法人御殿場市社会福祉協議会役員名簿	112
VII	御殿場市社会福祉協議会ボランティア団体登録リスト	115

1. 社会福祉協議会の組織・機構

(令和7年3月31日現在)

()内は人数

住 民	普通会員
	賛助会員
	特別会員

社協の役員は、概ね次の区分により選出されています。

会 長・・・学識経験者

副会長・・・民生委員児童委員協議会・区長会

理 事 } 民生委員児童委員協議会・地域福祉推進委員会・区長会・婦人会連
 監 事 } 絡協議会・老人クラブ連合会・行政機関・教育機関・医師会・学識
 評議員 } 経験者・福祉施設・ボランティア関係団体・保護司会・商工会



Ⅱ 令和6年度会計決算の状況

第一号第一様式

法人単位資金収支計算書

(自)令和6年04月01日 (至)令和7年03月31日

法人:社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会

事業:法人全体

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	11,938,000	11,909,000	29,000	
	寄附金収入	3,400,000	5,560,542	△ 2,160,542	
	経常経費補助金収入	50,667,000	50,302,412	364,588	
	受託金収入	181,095,000	181,522,797	△ 427,797	
	貸付事業収入	562,000	74,000	488,000	
	事業収入	12,475,000	11,994,132	480,868	
	負担金収入	644,000	541,035	102,965	
	介護保険事業収入	154,471,000	152,319,439	2,151,561	
	障害福祉サービス等事業収入	58,487,000	59,370,927	△ 883,927	
	収益事業収入	1,424,000	1,423,800	200	
	受取利息配当金収入	12,000	13,066	△ 1,066	
	その他の収入	3,129,000	2,829,125	299,875	
	事業活動収入計(1)	478,304,000	477,860,275	443,725	
支出					
人件費支出	344,498,000	341,936,520	2,561,480		
事業費支出	37,544,000	31,684,931	5,859,069		
事務費支出	122,063,000	117,032,445	5,030,555		
貸付事業支出	1,077,000	150,000	927,000		
共同募金配分金事業費	14,412,000	12,220,832	2,191,168		
助成金支出	9,495,000	9,471,732	23,268		
事業活動支出計(2)	529,089,000	512,496,460	16,592,540		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 50,785,000	△ 34,636,185	△ 16,148,815		
施設整備等による収支					
収入					
施設整備等補助金収入	4,770,000	4,770,000	0		
施設整備等収入計(4)	4,770,000	4,770,000	0		
支出					
固定資産取得支出	7,621,000	7,296,050	324,950		
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,230,000	2,192,980	37,020		
施設整備等支出計(5)	9,851,000	9,489,030	361,970		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 5,081,000	△ 4,719,030	△ 361,970		
その他の活動による収支					
収入					
基金積立資産取崩収入	19,500,000	19,500,000	0		
積立資産取崩収入	4,560,000	4,559,995	5		
その他の活動収入計(7)	24,060,000	24,059,995	5		
支出					
積立資産支出	4,812,000	4,812,000	0		
その他の活動支出計(8)	4,812,000	4,812,000	0		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	19,248,000	19,247,995	5		
予備費支出(10)	45,638,000	-	34,400,000		
	△ 11,238,000				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 71,018,000	△ 20,107,220	△ 50,910,780		
前期末支払資金残高(12)	71,018,000	71,024,892	△ 6,892		
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	50,917,672	△ 50,917,672		

予備費支出△11,238,000

【内訳】

職員俸給支出4,921,000、諸手当支出996,000、職員賞与支出3,123,000、法定福利費353,000、非常勤職員給与支出60,000、助成金支出700,000、印刷製本費支出6,000、車両費支出10,000、通信運搬費支出1,000、修繕費支出594,000、租税公課支出474,000

法人単位事業活動計算書

(自)令和6年04月01日 (至)令和7年03月31日

法人:社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会

事業:法人全体

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益				
	会費収益	11,909,000	11,889,000	20,000	
	寄附金収益	5,560,542	5,616,351	△ 55,809	
	経常経費補助金収益	50,302,412	51,189,089	△ 886,677	
	受託金収益	181,522,797	177,476,315	4,046,482	
	事業収益	11,994,132	10,312,294	1,681,838	
	負担金収益	541,035	486,949	54,086	
	介護保険事業収益	152,319,439	146,985,023	5,334,416	
	障害福祉サービス等事業収益	59,370,927	59,194,782	176,145	
	収益事業収益	1,423,800	2,049,600	△ 625,800	
	サービス活動収益計(1)	474,944,084	465,199,403	9,744,681	
サービス活動増減の部	費用				
	人件費	347,728,788	314,285,411	33,443,377	
	事業費	31,684,931	31,844,485	△ 159,554	
	事務費	117,032,445	110,328,151	6,704,294	
	共同募金配分金事業費	12,220,832	13,984,518	△ 1,763,686	
	助成金費用	9,471,732	8,827,512	644,220	
	減価償却費	8,007,958	6,478,197	1,529,761	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 3,007,062	△ 2,609,568	△ 397,494	
	徴収不能額	82,000	0	82,000	
	サービス活動費用計(2)	523,221,624	483,138,706	40,082,918	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 48,277,540	△ 17,939,303	△ 30,338,237	
サービス活動外増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	13,066	14,554	△ 1,488	
	その他のサービス活動外収益	2,829,125	3,366,538	△ 537,413	
		サービス活動外収益計(4)	2,842,191	3,381,092	△ 538,901
サービス活動外増減の部	費用				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,842,191	3,381,092	△ 538,901	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 45,435,349	△ 14,558,211	△ 30,877,138	
特別増減の部	収益				
	施設整備等補助金収益	4,770,000	0	4,770,000	
	施設整備等寄附金収益	0	400,000	△ 400,000	
	固定資産受贈額	0	1,972,290	△ 1,972,290	
		特別収益計(8)	4,770,000	2,372,290	2,397,710
	特別増減の部	費用			
固定資産売却損・処分損		5	3	2	
国庫補助金等特別積立金積立額		4,770,000	0	4,770,000	
	特別費用計(9)	4,770,005	3	4,770,002	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 5	2,372,287	△ 2,372,292	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 45,435,354	△ 12,185,924	△ 33,249,430	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	62,258,094	74,444,018	△ 12,185,924
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	16,822,740	62,258,094	△ 45,435,354
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		基金取崩額(15)	19,582,000	0	19,582,000
		その他の積立金取崩額(16)	0	0	0
		その他の積立金積立額(17)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	36,404,740	62,258,094	△ 25,853,354

法人単位貸借対照表

令和7年03月31日現在

法人:社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会

事業:法人全体

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	68,737,874	92,222,193	△ 23,484,319	流動負債	43,977,934	41,146,790	2,831,144
現金預金	16,994,983	45,166,139	△ 28,171,156	事業未払金	6,771,123	5,697,190	1,073,933
事業未収金	51,656,891	46,676,054	4,980,837	1年以内返済予定リース債務	2,547,180	1,885,200	661,980
未収補助金	0	288,000	△ 288,000	未払費用	6,799,853	12,722,532	△ 5,922,679
1年以内回収予定長期貸付金	86,000	92,000	△ 6,000	預り金	24,977	25,572	△ 595
仮払金	0	0	0	職員預り金	4,138,249	2,660,007	1,478,242
				仮受金	0	0	0
				賞与引当金	23,696,552	18,156,289	5,540,263
固定資産	143,969,753	160,867,261	△ 16,897,508	固定負債	21,196,517	20,737,072	459,445
基本財産	21,849,659	23,054,709	△ 1,205,050	リース債務	6,824,840	6,617,400	207,440
建物	11,849,659	13,054,709	△ 1,205,050	退職給付引当金	14,371,677	14,119,672	252,005
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	負債の部合計	65,174,451	61,883,862	3,290,589
その他の固定資産	122,120,094	137,812,552	△ 15,692,458	純資産の部			
車輛運搬具	7,949,022	11,257,564	△ 3,308,542	基本金	100,000	100,000	0
器具及び備品	8,923,475	2,879,316	6,044,159	基金	81,955,371	101,537,371	△ 19,582,000
有形リース資産	9,322,520	8,502,600	819,920	福祉事業運営基金	5,000,000	5,000,000	0
権利	453,400	453,400	0	介護サービス事業安定基金	50,000,000	68,000,000	△ 18,000,000
投資有価証券	100,000	100,000	0	固定資産取得基金	18,500,000	20,000,000	△ 1,500,000
長期貸付金	0	0	0	災害ボランティア基金	5,000,000	5,000,000	0
退職給付引当資産	14,371,677	14,119,672	252,005	法外援護給付基金	2,500,000	2,500,000	0
福祉事業運営基金積立資産	5,000,000	5,000,000	0	小口資金貸付基金	955,371	1,037,371	△ 82,000
介護サービス事業安定基金積立資産	50,000,000	68,000,000	△ 18,000,000	国庫補助金等特別積立金	19,173,065	17,410,127	1,762,938
固定資産取得基金積立資産	18,500,000	20,000,000	△ 1,500,000	その他の積立金	9,900,000	9,900,000	0
災害ボランティア基金積立資産	5,000,000	5,000,000	0	基本財産積立金	9,900,000	9,900,000	0
法外援護給付基金積立資産	2,500,000	2,500,000	0	次期繰越活動増減差額	36,404,740	62,258,094	△ 25,853,354
				(うち当期活動増減差額)	△ 45,435,354	△ 12,185,924	△ 33,249,430
				純資産の部合計	147,533,176	191,205,592	△ 43,672,416
資産の部合計	212,707,627	253,089,454	△ 40,381,827	負債及び純資産の部合計	212,707,627	253,089,454	△ 40,381,827

財産目録

令和7年03月31日現在

法人:社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会

事業:法人全体

(単位:円)

勘定科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	16,994,983
現金	100,000
小口現金	100,000
預貯金	16,894,983
普通預金1一般	8,504,612
スルガ銀行御殿場駅支店(普通)02258179	8,292,592
富士伊豆農協玉穂支店(普通)0040218	73,168
富士伊豆農協新橋支店(普通)007648	138,852
普通預金2在宅介護	2,794,567
スルガ銀行御殿場駅支店(普通)02264882	2,652,905
ゆうちょ銀行 通常貯金38083141	141,662
普通預金3あけぼの	118,239
スルガ銀行御殿場駅支店(普通)02258183	118,239
普通預金4共同募金	95,523
スルガ銀行御殿場駅支店(普通)01925150	95,523
普通預金5駐車場	0
スルガ銀行御殿場駅支店(普通)01925060	0
小口資金貸付会計	869,371
スルガ銀行御殿場駅支店(普通)02258887	409,211
スルガ銀行御殿場駅支店(普通)3199967	460,160
普通預金6交流センター	4,512,671
スルガ銀行御殿場駅支店(普通)02404349	4,512,671
事業未収金	51,656,891
事業未収金	51,656,891
未収補助金	0
1年以内回収予定長期貸付金	86,000
1年以内回収予定長期貸付金	86,000
仮払金	0
流動資産合計	68,737,874
2 固定資産	
(1) 基本財産	
建物	11,849,659
建物	81,245,200
建物償却累計額	△ 69,395,541
定期預金	10,000,000
富士伊豆農協玉穂支店(定期)17374521	10,000,000
基本財産合計	21,849,659
(2) その他の固定資産	
車輛運搬具	7,949,022
車輛運搬具	28,391,009
車輛運搬具償却累計額	△ 20,441,987
器具及び備品	8,923,475

器具及び備品	29,512,585
器具及び備品償却累計額	△ 20,589,110
有形リース資産	9,322,520
有形リース資産	12,131,120
有形リース資産償却累計額	△ 2,808,600
権利	453,400
投資有価証券	100,000
長期貸付金	0
小口資金貸付金	0
退職給付引当資産	14,371,677
職員退職手当基金引当資産	14,371,677
スルガ銀行御殿場駅支店(定期)19933308	14,371,677
福祉事業運営基金積立資産	5,000,000
富士伊豆農協新橋支店(定期)14022070	5,000,000
介護サービス事業安定基金積立資産	50,000,000
スルガ銀行御殿場駅支店(定期)19933316	50,000,000
固定資産取得基金積立資産	18,500,000
富士伊豆農協玉穂支店(定期)17842334	18,500,000
災害ボランティア基金積立資産	5,000,000
富士伊豆農協新橋支店(定期)14022070	5,000,000
法外援護給付基金積立資産	2,500,000
富士伊豆農協玉穂支店(定期)17842334	2,500,000
その他の固定資産合計	122,120,094
固定資産合計	143,969,753
資産合計	212,707,627
II 負債の部	
1 流動負債	
事業未払金	6,771,123
事業未払金	6,771,123
1年以内返済予定リース債務	2,547,180
未払費用	6,799,853
預り金	24,977
職員預り金	4,138,249
仮受金	0
賞与引当金	23,696,552
賞与引当金(職員)	20,142,121
賞与引当金(法定福利費)	3,292,364
賞与引当金(非常勤職員)	262,067
流動負債合計	43,977,934
2 固定負債	
リース債務	6,824,840
退職給付引当金	14,371,677
職員退職手当基金積立資産引当金	14,371,677
固定負債合計	21,196,517
負債合計	65,174,451
差引純資産	147,533,176

Ⅲ 令和6年度事業実績

1 組織の強化と財政基盤の確立

(1) 組織の強化

社会福祉協議会は、市における社会福祉事業の効率的運営と組織的活動を促進し、もって地域福祉の増進を図るため設置された社会福祉法人である。

市内全戸を会員とし、地域団体や福祉団体等の代表者と行政機関からの選出者によって役員会を組織し、その運営を行った。

また、御殿場市民交流センター「ふじざくら」を地域福祉活動の拠点として地域福祉・在宅福祉推進力を強化するとともに地域住民へのサービス向上に努めた。

[理事会開催状況]

年月日	主な議題
令和6年 5月29日	<ul style="list-style-type: none">・副会長補欠者の選定について・令和5年度事業報告の承認について・令和5年度資金収支決算の承認について・評議員会の招集について・評議員補欠候補者の推薦について
令和6年 8月28日	<ul style="list-style-type: none">・労働者派遣事業に係る指導の結果について・令和6年度資金収支補正予算（第1号）の同意について・評議員会の招集について・評議員補欠候補者の推薦について
令和7年 2月5日	<ul style="list-style-type: none">・令和6年度歳末たすけあい運動募金の配分について・専決の報告について・令和6年度第1回定期監査の結果について・令和6年度資金収支補正予算（第2号）の同意について・評議員会の招集について
令和7年 3月12日	<ul style="list-style-type: none">・専決の報告について・定款の一部を改正する定款制定について・令和7年度事業計画の同意について・令和7年度資金収支当初予算の同意について・評議員会の招集について

[評議員会開催状況]

年月日	主な議題
(令和6年 4月18日)	・理事補欠者の選任について (令和6年5月13日書面表決による決議)
令和6年 6月12日	・令和5年度事業報告の承認について ・令和5年度資金収支決算の承認について
(令和6年 7月10日)	・理事補欠者の選任について (令和6年7月25日書面表決による決議)
令和6年 9月4日	・労働者派遣事業に係る指導の結果について ・令和6年度資金収支補正予算(第1号)の承認について
令和7年 2月12日	・令和6年度歳末たすけあい運動募金の配分について ・令和6年度第1回定期監査の結果について ・令和6年度資金収支補正予算(第2号)の承認について
令和7年 3月26日	・定款の一部を改正する定款制定について ・令和7年度事業計画の承認について ・令和7年度資金収支当初予算の承認について

[評議員選任・解任委員会開催状況]

年月日	主な議題
令和6年 5月29日	・評議員補欠者の選任について
令和6年 8月28日	・評議員補欠者の選任について

[監査の実施状況]

①決算監査

日時 令和6年5月10日(金)午前9時から午後1時30分まで
 場所 御殿場市民交流センター「ふじざくら」ボランティアビューロー
 内容 ・令和5年度事業監査
 ・令和5年度決算監査
 ・監査チェックマニュアルに基づく点検

実施者 監事2人

②定期監査

日時 令和7年1月14日(火)・15日(水)両日午前9時から午後4時まで
 場所 御殿場市民交流センター「ふじざくら」ボランティアビューロー

- 内容
- ・法人の概要等ヒアリング
 - ・法人会計の帳簿の点検
 - ・財産の管理状況の調査

実施者 公認会計士畔村勇次事務所（富士市荒田島町）

公認会計士 畔村勇次氏

(2) 財政基盤の確立（自主財源の確保）

住民主体の福祉活動を進める上で、自主財源は社会福祉協議会の自主性・主体性を高め、社会福祉協議会組織にふさわしい運営と事業の実施には不可欠である。近年、自治会加入率の低下に伴い普通会員会費が減少しているため、広報誌「ひだまり」発行や地方新聞の協力を得て広報活動を積極的に推進した。

また、行政担当部局に基本となる人件費について折衝し、財源の確保に努めた。

<会費>

（単位：円）

区分	令和6年度		令和5年度		比較	
普通	21,992世帯	10,996,000	21,996世帯	10,998,000	△4世帯	△2,000
賛助	283口	283,000	271口	271,000	12口	12,000
特別	63口	630,000	62口	620,000	1口	10,000
計		11,909,000		11,889,000		20,000

<寄附金>

（単位：円）

区分	寄附者	件数	金額
一般	個人	44	1,231,670
	企業	3	1,036,878
	団体	20	1,782,284
	小計	67	4,050,832
指定	個人	2	300,000
	企業	22	1,078,405
	団体	8	131,305
	小計	32	1,509,710
令和6年度計		99	5,560,542
令和5年度計		114	6,016,351

<物品寄附>

個人・企業・団体等より 52 件の寄附物品が寄せられた。(令和 5 年度 56 件)

寄附者	寄附件数	数量等
個人	45	紙オムツ 6 袋と 455 枚・尿とりパット 7 箱と 20 袋と 788 枚、 リハパンツ 2 袋と 592 枚、紙パンツ 643 枚、 お尻ふき 2 パック、タオル 4 箱と 34 枚、 ケアシート 5 袋 1 枚、マスク 99 枚、ティッシュ 60 箱、 食品 2 箱、栄養ドリンク 201 本、入浴剤・洗剤 8 個、 シャンプー、歯ブラシ、ブラシ、ひげそり 5 袋、石鹸 4 個、 毛糸 4 袋、ねまき 6 着、肌着 21 枚、座布団 27 枚、 はがき 41 枚、封筒 5 枚、車椅子 2 台
企業	3	お菓子 7798 個、食品・日用品・雑貨 46 箱と 73 点、
団体等	4	米 102 kg、防災食 7 箱、ハイソックス 7 箱、車椅子 2 台

<東田中塚本踏切高架下駐車場事業>

(最大収容 46 台、月額 4,200 円)

(単位：円)

月	台数	売上金	月	台数	売上金
4 月	40	168,000	10 月	44	184,800
5 月	40	168,000	11 月	43	180,600
6 月	40	168,000	12 月		
7 月	44	184,800	1 月		
8 月	44	184,800	2 月		
9 月	44	184,800	3 月		
令和 6 年度計				339	1,423,800
令和 5 年度計				488	2,049,600

※1 社会福祉事業への繰出金 638,510 円

※2 令和 6 年 12 月から東田中塚本踏切高架下橋梁の大規模工事に伴い、管理委託先である御殿場市身体障害者福祉会との協議の結果、会員の負担軽減等を踏まえ工事終了後の事業再開が困難であることから事業終了となった。

<飲物自動販売機 (1 か所設置) >

(単位：円)

月	収益	月	収益	月	収益	月	収益	令和 6 年度収益
4・5 月	11,995	8 月	9,059	11 月	3,946	2 月	3,498	月平均 5,642
6 月	8,277	9 月	8,250	12 月	2,289	3 月	4,109	令和 5 年度収益
7 月	4,762	10 月	8,233	1 月	3,295	合計	67,713	月平均 6,466

<バザー機器の貸出し>

地域の皆様に、ポップコーン機（1台）の貸出しを行った。

（レンタル料1回2,500円）

（単位：円）

月	収益	月	収益	月	収益		収益
4月	0	8月	2,500	12月	0	令和6年度平均	1,458
5月	0	9月	2,500	1月	2,500	令和6年度合計	17,500
6月	0	10月	2,500	2月	0	令和5年度平均	833
7月	5,000	11月	2,500	3月	0	令和5年度合計	10,000

2 第5次地域福祉活動計画推進

42項目162事業年次評価詳細

5点（24事業）・4点（85事業）・3点（51事業）・2点（2事業）・1点（0事業）

※平均3.81点（令和5年度 3.71点）

各事業の目標点数を4点以上として進捗管理し、計画推進を図った。

令和4年度から令和8年度までの5年を計画期間とする中期計画「第5次地域福祉活動計画」に従って各事業を推進した。

推進に当たっては、実施内容、予算規模等に関するヒアリングの実施により、事業の適正化を図ったほか、事務局会議（毎月1回）において連絡調整、課題協議を行い、地域福祉推進に関する意識の共有化と事業の進捗管理を行った。

さらに各所属又は担当職員ごとに、事業評価シートにより年次評価を行い、数値的な評価とともに、目に見える具体的な成果がどのように上げられたのか、あるいは、継続中の場合はどこまでできていて、今後、何に取り組まなければならないのかという課題を、具体的なデータや実績、証拠を基に記入した。軌道修正の場合には、どこがどのように反省点で、どう修正して取り組むのか、今後の対応を記入した。年次評価詳細を5月理事会、6月評議員会へ報告。

《評価尺度》

5	既に具体的事業（組織体制等の改変）として実施済みであり目標を達成している。
4	具体的事業（組織体制等の改変）として実施し、目に見える形で具体的成果（変容）も上げることができた。
3	具体的事業（組織体制等の改変）として実施したが、まだ目に見える形で具体的成果（変容）は上げられていないため、継続する必要がある。

2	具体的事業（組織体制等の改変）として実施したが、取り組み方に問題が生じた、ないしは、方向性に誤りがあった。目標から離脱しているため、事業実施方法に大きな軌道修正（方法を変えての再取組）が必要である。
1	具体的事業（組織体制等の改変）として実施できていない。未着手である。

3 調査研究活動

当市における効果的な地域福祉活動推進の参考とすることを目的として、先進地視察を行った。

(1) 品川成年後見センター（任意後見）視察

日時 令和6年9月3日（火）午後1時30分から3時まで
 視察先 品川成年後見センター（東京都品川区）
 参加者 社会福祉協議会職員10人、行政職員2人 計12人
 内容 任意後見制度〈あんしんの3点セット〉について

(2) 常設型居場所「カフェ城山」視察

日時 令和6年12月5日（木）午前9時から午後2時まで
 視察先 居場所カフェ城山（函南町）
 参加者 市内居場所運営者、社会福祉協議会職員等 計7人
 内容 常設型居場所の活動について（情報交換）

(3) 共生型居場所「あえるもん」視察

日時 令和6年12月18日（水）午前9時から午後3時まで
 視察先 居場所あえるもん（袋井市）
 参加者 市内居場所運営者、社会福祉協議会職員等 計7人
 内容 共生型居場所の活動について（情報交換）

4 啓発活動の推進

(1) 各種広報活動

① 広報誌の発行

ごてんば社協だより「ひだまり」を年間8回発行した。各事業の報告等を中心に、住民の視点に立ち、親しみやすく読みやすい紙面づくりに努めた。

高齢者生活支援体制整備事業、成年後見センター特集、居場所特集として、高齢者の生活を支える取組、移動支援事業、成年後見制度についての紹介、居場所、サロンの紹介をした。

②ホームページの充実

令和3年8月にホームページを全面リニューアルし、デザインと構成を見直し、より分かりやすく事業の周知、各種講座・研修会参加者募集、実施事業の報告、社協だよりの掲載のほか、社会福祉協議会関係情報に限らず、広く福祉情報の提供に努めた。また、より一層の充実を図るため、エックス、フェイスブックなどのSNSを活用した情報発信を行う体制を継続した。

③マスメディアの活用

各事業の参加者の募集、内容の取材報道等について新聞・FM放送・ケーブルテレビ・市広報誌及び無線放送等の手段を活用し啓発活動を推進した。

④その他

年度当初、市内6地区の区長会に出席し、区長会の協力を得て「社会福祉協議会のしくみとしごと」を全戸に回覧し、社会福祉協議会活動への参加及び必要性について理解を頂くとともに、必要に応じて文書の回覧、ポスター等の掲示の協力を頂いた。

(2) 第41回御殿場市ふれあい広場

開催日 令和6年9月28日(土) 午前9時45分から午後2時30分まで

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」全館

来場者 約5,000人(令和5年度5,000人)

テーマ 「ふれあいの小さな手から大きな輪」

趣旨 市民のみなさんと福祉に関係する様々な機関・団体・個人が、一堂に会し、交流し、思いやりの心で明るく住みよい御殿場市をつくるために開催した。

- 目的
- ①福祉啓発及び福祉関係団体と来場者の交流を通し、一人でも多くの市民に福祉活動への理解、参加を促す。
 - ②各種の福祉制度、福祉サービス、ボランティア活動等の情報を提供、周知し、市民の福祉向上を図る。
 - ③参加団体間、世代間の交流により、福祉推進事業や活動における協力、連携を深めるきっかけとする。
 - ④未来の福祉の担い手を育てる機会とする。

⑤被災地支援活動を継続する。

被災地支援 義援金募集

・統一の募金箱を用意し、来場者から義援金を募った。

募金総額 49,698 円（能登半島地震被災地へ送金）

催事内容 ①展示

・会員募集案内、施設利用者作品、活動紹介パネルほか

②配布

・施設パンフレット、広報紙、啓発品、飲料水、食品ほか

③相談

・介護相談、健康相談ほか

④体験・ゲーム

・くじ引き、ヨーヨー釣り、射的、輪投げ、ロープ結び、キーホルダー製作、無料奉仕治療ほか

⑤販売

・バザー品、野菜、果物、花苗、縫製品、衣類、食品ほか

⑥その他

・ステージプログラム、ふれあい抽選会、スタンプラリー、フードドライブの実施、手話DVD放映ほか

主催 第41回御殿場市ふれあい広場実行委員会

実行委員会 参加50団体の担当者により構成（市内福祉施設、ボランティア団体、当事者団体、関係機関、福祉関連企業、労働組合等）

※打合せ会 令和6年8月30日（金）（台風により中止）

招待者 市長、副市長、教育長、市議会議長、県議会議員、区長会長、民生委員児童委員協議会長

司会協力 御殿場西高等学校生徒 2人

(3) 第36回御殿場市社会福祉大会

開催日 令和6年10月5日（土）午後1時15分から

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ホール

参加者 市議会、各財産区議会、区長会、民生委員児童委員協議会、保護司会、婦人会連絡協議会、市関係者、社会福祉協議会関係者
120人（令和5年度120人）

趣旨 近年、少子高齢化の進行、雇用環境やライフスタイルの変化等を背景と

して、家庭や地域での相互扶助機能が低下しており、ひとり暮らし高齢者の孤独死、子育てに悩む保護者の孤立、児童や高齢、障害のある人に対する虐待や自殺等に加えて、引きこもり、8050 問題、ダブルケア、ヤングケアラー等、複合的な課題が潜在化しています。

このような中で、地域のきずなはますます重要であり、地域でのコミュニティ活動を通じ、日頃から顔の見える関係づくりを継続して行くことが大切です。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けて行くためには、住民主体の地域福祉活動を構築していく、ことが求められています。

これらの地域福祉の推進を図るために本大会では、社会福祉事業に功績のあった方、貴重な金品の御寄附を頂いた方に感謝の意を表するとともに、さらなる御殿場市の社会福祉の充実にむけた啓発を図る機会として実施します。

表彰等 市長感謝状（個人 2 人、団体 10 団体）
社会福祉協議会会長表彰（個人 10 人、団体 4 団体）
社会福祉協議会会長感謝状（個人 7 人、団体 13 団体）
中央共同募金会会長感謝状（団体 1 人）
静岡県共同募金会会長感謝状（個人 1 人、団体 19 団体）

大会宣言 近年、少子高齢化の進行雇用環境やライフスタイルの変化等を背景として、家庭や地域での相互扶助機能が低下しており、ひとり暮らし高齢者の孤独死、子育てに悩む保護者の孤立、児童や高齢者、障害のある人に対する虐待や自殺等に加えて、引きこもり、8050 問題、ダブルケア、ヤングケアラー等、複合的な課題が潜在化しています。

このような中で地域のきずなはますます重要であり、地域でのコミュニティ活動を通じ、日頃から顔の見える関係づくりを継続して行くことが大切です。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、住民主体の地域福祉活動を構築していくことが求められています。

第 36 回御殿場市社会福祉大会の開催にあたり、思いやりと支え合う福祉のまちづくりの実現に向けて、次のことを宣言します。

- 一、市民一人ひとりが地域でできること（自助・共助）に取り組みます
- 一、長生きして良かったといえるまちづくり事業を推進します。
- 一、地域福祉活動組織の充実強化と住民参加・協働による活動を推進します

- 一、地域に根ざした総合的な支援体制の実現と福祉サービスの充実に努めます
- 一、福祉教育の充実とボランティア活動を推進します。

(4) 令和6年度「介護の日」イベント

平成20年度、厚生労働省は、「11月11日は、いい日いい日の介護の日」と定めた。高齢社会の到来による介護に関する課題が多様化している現在、多くの方々に高齢者介護を身近なものとして捉えていただくとともに、介護を受ける本人や家族・介護をサポートする介護従事者等それぞれの立場で介護を考え、介護についての理解や認識を深めていただき、地域社会における支え合いや交流を促進することを目的に開催した。

日時	令和6年11月7日（木）午後7時から8時30分まで
会場	御殿場市民交流センター「ふじざくら」 第3・4会議室
参加来場者	22人（令和5年度37人）
実施内容	①「認知症について」 講師：地域包括支援センター菜の花 方壁友子
	②「園芸福祉を活用した地域連携の取り組みについて」 講師：田方農業高等学校 原川 均教諭

(5) 障害者週間等啓発

①障害者週間キャンペーン

「障害者週間」は、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、障害者基本法に規定されている。

「障害者週間」の周知と以下の強調テーマの普及を図るため、障害者週間の期間である12月3日から9日の一週間を中心に各種啓発事業を実施した。

- 強調テーマ
- ・共生社会（障害の有無にかかわらず誰もが人格と個性を尊重し支え合う社会）の理念の普及
 - ・障害に関する理解の促進
 - ・一人一人が日常生活や事業活動の中で自ら実施できる配慮や工夫の周知

[内容]

I 啓発ポスター掲示、パンフレットの作成・配布

II 福祉活動展示

御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ロビーで障害者福祉関係団体・施設の活動展示を行った。

期 間 令和6年11月29日（金）から12月13日（金）まで

団体数 27団体

来場者 3,071人（御殿場市民交流センター来館者からの推計）

III シンポジウム

テーマ 能登地震の教訓をどう生かすか

～自助・共助・公助の視点から支えあえる地域を目指すことを目的として平常時になにをしたらよいかを考えるきっかけにしたい～

コーディネーター 御殿場市社会福祉協議会 湯山紀美子

シンポジスト 社会福祉法人婦人の園「インマヌエル」 高橋頼太氏

御殿場市健康推進課 菅沼和泉氏

社会福祉法人寿康会「徳風園」 柴田和之氏

日 時 令和6年12月6日（金）午後1時30分から3時30分まで

会 場 御殿場市民会館小ホール

内 容 福祉の現場で何が起こったのか？夫々の立場で何ができるのか？

対象者 御殿場市民、小山町民（来場者91人）

協力者 要約筆記通訳4人、手話通訳2人、スタッフ13人

主 催 御殿場・小山障害児者自立支援協議会

②児童福祉月間（週間）キャンペーン

児童福祉の理念の普及、啓発のための各種事業及び行事を展開することにより、児童福祉の理念の一層の周知と子供を取り巻く諸問題に対する社会的関心の喚起を図るため、児童福祉週間の期間である5月5日から5月11日までの一週間を含む5月を児童福祉月間として啓発を行った。

実施期間 令和6年5月5日（日）から5月11日（土）まで

内容 啓発ポスターを御殿場市民交流センター「ふじざくら」館内に掲示

③老人月間（日・週間）キャンペーン

高齢者の福祉に対して社会全体での取組を進めるため、老人週間の期間である9月15日から9月21日までの一週間を含む9月を老人月間として啓発を行った。

実施期間 令和6年9月15日（日）から9月21日（土）まで

内容 啓発ポスターを御殿場市民交流センター「ふじざくら」館内に掲示

5 児童福祉活動

(1) 児童遊具整備費の助成

市内各区の広場等に設置される児童遊具の新設及び修理費の一部を助成した。

令和 6 年度		令和 5 年度	
事業名	助成額	件数	助成額計
柴怒田区コミュニティ供用施設広場 ブランコ、すべり台塗装修繕工事	50,000 円	1 件	150,000 円
合計	50,000 円		

(2) 準要保護家庭児童に対する入学祝金支給

民生委員児童委員の協力を得て、準要保護家庭の新入学児童に祝金を支給した。

区分	基準額	令和 6 年度		令和 5 年度	
		件数	支給額計	件数	支給額計
小学校入学祝金	10,000 円	23 件	230,000 円	27 件	540,000 円
中学校入学祝金	10,000 円	31 件	310,000 円	36 件	360,000 円
合計		54 件	540,000 円	63 件	900,000 円

(3) 中卒就職生に対する激励（平成 27 年度から各中学校で開催）

社会に巣立つ卒業生に記念品を贈り激励した。

対象者 3 人（令和 5 年度 9 人）

(4) 交通遺児家庭に対する訪問激励

交通遺児家庭に対し、市民から寄せられた寄附金を、民生委員児童委員の協力を得て激励金として配分した。

区分	基準額	令和 6 年度		令和 5 年度	
		件数	支給額計	件数	支給額計
遺児 1 人世帯	20,000 円	1 件	20,000 円	1 件	20,000 円
遺児 2 人世帯	25,000 円	0 件	0 円	0 件	0 円
合計		1 件	20,000 円	1 件	20,000 円

(5) 保育の会活動の助成

御殿場市内の私立、公立保育園の保育士が組織する御殿場市保育の会に研修活動費の助成を行った。

- ・御殿場市保育の会事業助成金 1件 50,000円

(6) 地域ふれあい事業の助成

御殿場市子ども会世話人連合会が地域住民とのふれあいを目的として実施する事業の事業費助成を行った。

- ・市子連地域ふれあい事業助成金 1件 290,000円

(7) 子ども食堂の運営支援

子ども食堂は全国各地で展開されており、市内で、9か所の子ども食堂が開設済み。本会では、地域福祉担当職員の派遣のほか、市民、企業、団体等からの寄附の仲介等、随時運営支援を行った。

また、運営者同士の情報交換の場を設けるため、連絡会を開催した。

<子ども食堂連絡会>

- 日時 令和6年12月24日(火) 午前10時30分から11時30分まで
- 会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」
- 内容 ①現在の活動内容の報告
②「ふじざくら」に設置の業務用冷蔵庫の使用方法について
③子ども食堂への寄附の分配について
④今後の要望や展望について
⑤その他

<市内に開設されている子ども食堂の取組概要>

①はらぺこ食堂 ※平成30年10月発足

- 日時 月に1回(土・日・祝日等)
- 会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」ほか
- 内容 子供の孤食の防止、多世代交流を目的にワークショップ等の体験を通して、弁当を配布。

②てとてとひろば ※平成30年11月発足

- 日時 毎月第3月曜日 午前中(その他月1回のフードシェア有)
- 会場 森之腰公民館ほか
- 内容 支援を必要とする子育て中の家庭へ手作り弁当とシェアパックを配布。

③ウエルカムいちえ ※平成31年1月発足

- 日時 不定期平日 夕方
- 会場 市江夫妻自宅 ※御殿場市竈

内 容 予約制でほぼ毎日開催。自家菜園の野菜などを使った家庭料理を継続的に父子家庭等に提供。

④ポニー食堂 ※令和2年7月発足

日 時 毎週水曜日・日曜日

会 場 カルチャーファーム ※御殿場市東田中

内 容 支援を必要とする子育て中の家庭に弁当を配布。

⑤トンボ食堂 ※令和7年1月発足

日 時 毎週水曜日・土曜日

会 場 二枚橋公民館

内 容 支援を必要とする全ての方に食事を提供。

⑥ThreeP's ※令和4年6月発足

日 時 定休日の木曜日・祝日を除く平日

会 場 THIRDPLACE ThreeP's 店舗 ※御殿場市新橋

内 容 0歳から15歳までを対象に店内飲食を子供100円で提供。

⑦地域食堂みんなのミナミ ※令和4年10月発足

日 時 月に1回（不定期）

会 場 ミナミテニスクラブ

内 容 子供から高齢者を対象に、旬の食材をいかした手料理を提供。また、季節ごとにイベントを開催し交流を図る。

⑧あ〜ん ※令和4年12月発足

日 時 毎週木曜日

会 場 運営者自宅 ※御殿場市二枚橋

内 容 子供から高齢者まで、人と人がつながり交流していくことを目的に手料理の提供やイベントを開催。

⑨ボランティアグループ「みんなの手」 ※令和5年5月発足

日 時 「あざみオープンガーデン」を毎日解放

会 場 デイサービスあざみ

内 容 「あざみオープンガーデン」を地域の子供たち、学校帰りの子供たちの遊び場として開放。

6 低所得者世帯・罹災世帯等への福祉活動

低利の資金を貸し付けるとともに、必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長、促進及び在宅福祉と社会参加の促進を目的に事業を実施した。

(1) 小口資金の貸付け並びに生活指導及び償還指導

一時的に必要なとする生活つなぎ資金・医療費等の資金貸付事業

(限度額 5 万円、無利子、償還期限最高 10 か月)

貸付件数	5 件	金額	170,000 円
(令和 5 年度件数)	(2 件)	(金額)	(80,000 円)
償還完了件数	2 件	金額	60,000 円
償還継続件数	3 件	償還額	19,000 円
		残金額	91,000 円
償還完了過年度件数	0 件	償還額	0 円
償還継続過年度件数	2 件	償還額	0 円
		残金額	82,000 円

(2) 生活福祉資金の貸付け並びに生活指導及び償還指導

(静岡県社会福祉協議会から事務受託)

低所得世帯・障害者世帯・高齢者世帯に、必要な資金の貸し出しと相談支援を行い、経済的な自立や在宅で安定した生活を送ることができるようにする制度として、総合支援資金・福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金の貸付けと償還事業を実施した。コロナ禍の下、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付けの対象世帯を低所得世帯以外にも拡大し、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための費用を貸付けた世帯の生活状況の把握や償還指導、相談対応と事務を行った。

※令和 2 年 3 月 25 日対象拡大し、令和 4 年 9 月末で特例貸付を終了

○貸付状況

①総合支援資金

失業者を対象とした生活を立て直す費用

申請件数 0 件

貸付決定件数 0 件 貸付不承認件数 0 件

貸付決定金額 0 円

②福祉資金

低所得・障害者・高齢者世帯を対象とした自立生活のために一時的及び緊急に

必要な費用

申請件数 5 件
貸付決定件数 1 件 貸付不承認件数 4 件
貸付決定金額 100,000 円

③教育支援資金

学費の捻出が困難な低所得世帯の学生に対し、入学金や授業料等、大学等への就学に必要な費用

申請件数 4 件
貸付決定件数 4 件 貸付不承認件数 0 件
貸付決定金額 3,047,000 円

④不動産担保型生活福祉資金

持ち家と土地があっても現金収入が少ない高齢者が、その居住用不動産を担保に生活費を借り入れることにより、世帯の自立支援を図っていく費用。

申請件数 1 件
貸付決定件数 1 件 貸付不承認件数 0 件
貸付決定金額 11,375,000 円（借入可能上限額）

(3) ふくっぴ～絆資金

低所得者で、緊急かつ一時的に生活資金が必要な世帯に対し援助、指導を行う事業。

（限度額 3 万円、無利子、償還期限最高 3 か月）

貸付件数 1 件（令和 5 年度 1 件）

(4) 災害見舞金

災害により被害を受けた世帯に対して見舞金を支給した。

見舞金の基準及び支払状況

災害の内容	基準額	令和 6 年度	令和 5 年度
建物及び家財の全焼又は全壊	20,000 円	4 件	1 件
建物及び家財の半焼又は半壊	10,000 円	0 件	0 件
建物及び家財の一部損壊	5,000 円	0 件	0 件
合計		4 件	1 件

(5) 旅費欠乏者に対する援護

旅費欠乏者に対して、御殿場市役所窓口で裾野駅又は山北駅までの鉄道運賃の相当額の現金を支給した。

支給状況

	令和6年度	令和5年度
支給件数	5件	5件

7 生活困窮者自立相談支援事業

本事業は、生活困窮者に対して、就労支援を含めた包括的かつ継続的な支援を実施し、多様な問題を抱えた支援対象者の自立を促進することを目的に、御殿場市から自立相談支援事業を受託し、各事業を実施した。

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

①相談体制・職員体制

主任相談員1人、自立相談支援員2人、就労支援員1人 計4人を配置

②相談実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付件数		14	18	14	15	11	7	13	8	8	9	12	9	138
相談支援件数		103	99	112	113	84	92	99	120	65	62	62	67	1,078
経路	本人	104	98	90	126	93	71	87	86	55	53	58	60	981
	家族	6	5	7	1	0	1	5	4	1	3	2	3	38
	民生委員	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	社協相談センター	0	5	24	0	0	25	9	33	8	13	11	11	139
	行政	1	6	2	0	0	2	2	0	3	0	2	2	20
	ケアマネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	包括	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	医療機関	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	友人知人	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	5
	その他	6	1	0	0	1	0	3	3	2	1	0	0	17
性別	男性	89	72	94	89	54	60	76	76	44	45	57	42	798
	女性	28	45	32	39	41	39	36	52	29	26	16	34	417

	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
相 談 者 年 齢	19歳以下	4	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	11
	20歳代	11	8	11	12	2	9	11	15	5	7	15	12	118
	30歳代	18	19	32	17	21	24	16	23	4	11	11	14	210
	40歳代	24	37	30	44	24	21	35	26	24	23	13	13	314
	50歳代	32	25	20	21	22	19	14	22	15	13	22	19	244
	60～64歳	11	7	9	11	9	10	15	13	6	7	6	8	112
	65歳以上	15	14	21	21	14	13	20	27	17	6	4	9	181
	不明	2	6	3	0	3	2	1	1	2	3	3	0	26
世 帯 人 数	単身世帯	65	58	55	70	51	44	47	55	25	37	44	39	590
	2人世帯	26	23	30	33	16	23	34	37	20	14	13	17	286
	3人以上	18	30	30	25	24	29	29	29	24	19	15	15	287
	不明	8	6	11	0	4	3	2	7	4	1	2	5	53

③支援内容概要（複数記入）

対応方法	件数
電話相談	350
来所相談	308
訪問	217
郵送	171
メール	5
その他	165

④相談者の課題の状況（複数記入）

課題の種類	件数
病気・健康・障害	6
住まいについて	100
収入・生活費	131
家賃・ローン支払い	18
税金・公共料金支払い	11
債務について	6
求職・就職	157
仕事上のこと	4
地域との関係	0
家族関係	4
子育てのこと	0
介護のこと	0
ひきこもり・不登校	0
DV・虐待	0
食糧がない	43
学費について	6
返済について	465
その他	278

⑤相談内訳

相談・支援内容	件数
貸付相談	65
特例貸付	661
食糧支援	47
家計相談	46
就労相談・就労支援	158
住居確保相談・支援	56
その他	116

(2) 住居確保給付金 ※令和2年4月20日対象拡大

離職や新型コロナウイルス感染症に関連し収入が減少した方に対し、就職に向けた活動をするなどを条件に、一定期間、家賃相当額（限度額あり）を（家主に）支給するための相談対応と事務を行った。

<対象要件等と支給限度額>

世帯の収入と預貯金等の資産が基準以下の世帯に対し、支給限度額を上限に家賃相当費を原則3か月間支給

収入基準（月額）

1人世帯 115,200円・2人世帯 160,000円・3人世帯 188,300円
4人世帯 223,300円・5人世帯 257,300円・6人世帯 294,000円 以下省略

預貯金等資産

1人世帯 468,000円・2人世帯 690,000円・3人世帯 834,000円
4人以上世帯 1,000,000円

支給限度額

1人世帯 37,200円・2人世帯 45,000円・3人～5人世帯 48,300円
6人世帯 52,000円・7人～10人世帯 58,000円

※（ ）内は前年度件数

当初期間決定件数	12件（2件）	内訳 単身世帯 5件・複数世帯 7件
延長決定件数	3件（0件）	内訳 単身世帯 1件・複数世帯 2件
再支給申請件数	1件（0件）	内訳 単身世帯 0件・複数世帯 1件
受給者が就労に至った件数	9件	

(3) 事業の広報

随時 事業パンフレットの配布

市内 ドラッグストア店舗へ、パンフレット配架

(4) 相談対応に当たり連携をとった機関

ハローワーク御殿場・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・御殿場市役所（社会福祉課・課税課・子育て支援課・くらしの安全課・長寿福祉課・国保年金課）・医療機関（医療相談員）・民生委員児童委員・フードバンクふじのくに・不動産仲介業者・賃貸保証会社・障害者相談支援事業所・障害者就労事業所・東部青少年就労支援センター・市内外事業所・教育機関・人材派遣会社・静岡県社会福祉協議会（生活福

社資金)

(5) フードドライブ活動への協力

NPO 法人フードバンクふじのくにが実施した夏季、冬季の食料寄附活動に協力し、市民に対して家庭で消費しきれない食料の寄附を呼びかけた。寄せられた食料は、フードバンクふじのくにを通じて、当市を含む県内の生活困窮世帯への食料支援に活用された。

実績 夏季 令和6年8月1日から8月31日まで 受付 29件 重量約404kg
冬季 令和7年1月6日から1月31日まで 受付 25件 重量約321kg

また、北駿地区労働者福祉協議会と連携し、上記の期間外でも寄附の受付を行った。寄せられた食料は、静岡県労働金庫御殿場支店を通してフードバンクふじのくにへ送られ、県下の食料支援に活用された。

実績 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで 受付 109件 重量約735kg

(6) フードバンクの活用

① フードバンクふじのくにとの連携

「特定非営利活動法人フードバンクふじのくに」と連携し、物価高騰等の理由により生活が困窮した世帯へ食料支援を行った。

利用件数 51件

② 御殿場・小山フードバンク協議会との連携

御殿場・小山フードバンク協議会から3回にわたって本会、小山町社会福祉協議会、御殿場市行政、小山町行政及び市内の子ども食堂に世帯用食糧が寄せられ、逐次配布を行った。

また、本会からも市民や企業、団体から寄付を受けた食料品（年間合計278.5kg）を御殿場・小山フードバンク協議会へ提供した。

第1回目 令和6年7月30日・31日 食糧箱詰め作業

世帯用食糧 100箱 ※本会受領分

趣旨 「長期休み応援プロジェクト」（子供たちが夏休みを迎え、学校給食がない時期に、困窮する子育て中の生活困窮世帯へ食糧を支援するもの）

協賛 御殿場市・小山町の企業・団体

配布 令和6年8月1日から令和6年8月23日まで 71世帯へ配布

第2回目 令和6年12月12日・13日 食料箱詰め作業

世帯用食糧 100箱 ※本会受領分

趣旨 困窮する子育て中の生活困窮世帯へクリスマスプレゼントを贈るもの

協賛	御殿場市老人クラブ連合会ほか御殿場市・小山町の企業・団体
配布	令和6年12月16日から令和6年12月25日まで 81世帯へ配布
<u>第3回目</u>	令和7年3月13日・14日 食料箱詰め作業
	世帯用食糧 100箱 ※本会受領分
趣旨	進級、進学時期を迎え、困窮する子育て中の世帯を応援するもの
協力	御殿場市婦人会連絡協議会ほか御殿場市・小山町の企業・団体
配布	令和7年3月17日から令和7年3月28日まで 98世帯へ配布

(7) 包括的相談支援体制整備事業

地域のつながりの希薄化などにより、8050問題やひきこもり、ダブルケアなどの複雑・複合的な問題支援ニーズに対応する本市における包括的な支援体制の構築を推進するために、以下の3つの支援を内容とする体制整備を進めた。

「断らない相談支援」…本人・世帯の属性にかかわらず受け止める相談支援

「参加支援」…本人・世帯の状態に合わせ、地域資源を活かしながら、就労支援、居住支援などを提供することで社会とのつながりを回復する支援

「地域づくりに向けた支援」…地域社会からの孤立を防ぐとともに、地域における多世代の交流や多様な活躍の機会と役割を生み出す支援

①職員体制

連携担当職員1人、アウトリーチ支援員1人ほか

②地域資源開発

住民有志と共に富士山市民のサロン「けやきかん」（新橋2004番地の1）を拠点とする共生型居場所の創設に取り組んだ。

8 高齢者生活支援体制整備事業

平成28年10月から御殿場市の委託を受け、多様な関係機関や団体等により構成される協議体を設置し、本市の生活支援・介護予防サービスの充実に向けて協議を重ねた。

さらに、生活支援コーディネーター6人を推進役として配置し、ボランティア等の生活支援の担い手の養成、地域資源の開発やそのネットワーク化などに努めた。

(1) サービスの担い手の養成

【国土交通大臣認定 福祉車両運転者講習会】※福祉車両運転者の養成

第1回目

日時 令和6年5月23日(木) 午前9時から午後4時まで
令和6年5月24日(金) 午前9時から午後4時まで(計2日間)

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」・市内公道

参加者 20人(令和5年度14人)

内容

- ・移動サービスの運転に必要な知識と心構え
- ・リスクマネジメント等について
- ・公道での福祉車両運転実習
- ・福祉車両運転ボランティアの会「たんぼぼ」活動紹介ほか

第2回目

日時 令和6年10月29日(火) 午前9時から午後4時まで
令和6年10月30日(水) 午前9時から午後4時まで(計2日間)

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」・市内公道

参加者 16人(令和5年度16人)

内容

- ・移動サービスの運転に必要な知識と心構え
- ・リスクマネジメント等について
- ・公道での福祉車両運転実習
- ・福祉車両運転ボランティアの会「たんぼぼ」活動紹介ほか

【「ふれあいの居場所」担い手育成】

居場所の新規立ち上げに向けて、担い手育成を実施した。

研修(先進地視察)※第1回目

日時 令和6年12月5日(木) 午前10時から正午まで

会場 函南町居場所「カフェ城山」

参加者 居場所開設準備者、居場所運営者、社会福祉協議会職員 計7人

研修(先進地視察)※第2回目

日時 令和6年12月18日(水) 午前11時から午後1時まで

会場 袋井市居場所「あえるもん」

参加者 居場所開設準備者、居場所運営者、社会福祉協議会職員 計7人

【住民参加型生活支援事業あったかサポーター養成講座】

日時 令和6年10月3日(木) 午前9時30分から10時30分まで
令和7年3月21日(金) 午前9時30分から10時30分まで

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」集約事務室

参加者 3人(令和5年度17人)

内容

- ・住民参加型生活支援事業「あったかサポート」について

※個別に随時対応

【住民参加型生活支援事業支援員研修・連絡会】

日時 令和6年7月23日（火）午前10時から12時まで
会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」ボランティアビューロー
参加者 19人
内容 熱海市有償ボランティア“こつこつ”現役協力会員様からの体験談等

【住民参加型生活支援事業支援員フォローアップ】

住民参加型生活支援事業「あったかサポート」支援員登録者53人へ令和5年度の実績等を掲載した「あったかだより」を送付し、情報提供を行った。

【男性セカンドライフ講座】

日時 令和7年3月7日（金）午前9時から正午まで
会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」ボランティアビューロー
参加者 8人（令和5年度9人）
内容 ・体組成測定、健康講座（市健康推進課）
・地域活動紹介（勝間田久義氏、畑 淳三氏、深田伸司氏）

【「ふれあいの居場所」連絡会】

日時 令和6年12月24日（火）午前10時から11時15分まで
会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」第1・2会議室
参加者 居場所運営者及び担当者9人
内容 ・居場所視察の報告
・日本善行会表彰のお披露目（寄ってかっしゃあ〜）
・情報交換及び質疑応答等

【地域版国土交通大臣認定 運転ボランティア養成講座】※原里・印野地域限定

日時 令和6年9月20日（金）午前10時から午後4時まで
会場 御殿場市役所原里支所
市内公道
参加者 13人
内容 ・住民参加の移動外出支援について
・リスクへの備えと対応について
・公道での福祉車両運転実習
・グループワーク
・御殿場市の外出支援の取組についてほか

(2) 運営支援【移動サービス創出支援事業】

高齢者の日常生活の利便性を向上させるため、移動手段のない方を対象として、社会福祉法人やボランティアとの連携による移動支援サービスの創出を目指した。

また、高齢者のフレイル予防を念頭に置き、週に1回から月に1回の支援を継続的に行った。

①中畑北区買い物支援サービス（令和2年7月26日発足）

<活動内容>

実施日 毎月第2・火曜日 ※うち1回は【6】のつく日へ変更

使用車両 社会福祉法人野菊寮「野菊寮」車両（ボクシー：8人乗り）

目的地 マックスバリュ御殿場原里店

利用人数 延べ72人

②ほっくばらみんなで支える移動支援プロジェクト（令和2年9月8日発足）

<活動内容>

実施日 毎週木曜日又は6の付く日

使用車両 社会福祉法人十字の園「御殿場十字の園」車両（キャラバン：10人乗り）

目的地 マックスバリュ御殿場萩原店ほか

利用人数 延べ295人

③東山・二の岡移動支援サービス（令和3年7月15日発足）

<活動内容>

実施日 毎月第1・3火曜日

使用車両 有限会社グリーンフォレスト車両（シエンタ：5人乗り）

目的地 マックスバリュ御殿場新橋店

利用人数 延べ208人

④駒門区元気になろう会移動支援サービス（令和4年4月12日発足）

<活動内容>

実施日 毎月第2火曜日

使用車両 社会福祉法人福祉を共に考える会「つどいの家」車両（ノア：8人乗り）

居宅介護支援事業所「かつまた」車両（タント：4人乗り）

目的地 駒門区児童厚生体育施設

利用人数 延べ81人

⑤保土沢区いきいきサロン移動支援（令和4年7月7日発足）

<活動内容>

実施日 毎月第1木曜日
使用車両 社会福祉法人武蔵野会「さくら学園」車両（フィット：5人乗り）
目的地 保土沢区公民館
利用人数 延べ33人

⑥深沢区ふかさわやすらぎの会移動支援（令和4年12月16日発足）

<活動内容>

実施日 毎月第3金曜日
使用車両 社会福祉法人十字の園「御殿場十字の園（アドナイ館）」車両
（タンク：5人乗り）
目的地 深沢区公民館
利用人数 延べ29人

⑦印野地区買い物支援グループ（令和5年6月13日発足）

<活動内容>

実施日 毎月第2・4火曜日
使用車両 社会福祉法人武蔵野会「さくら学園」車両（フィット：5人乗り）
目的地 マックスバリュ御殿場原里店
利用人数 延べ186人

⑧東山・二の岡生活支援お助け隊（令和5年11月28日発足）

<活動内容>

実施日 予約制
使用車両 自家用車、社会福祉法人御殿場市社会福祉協議会車両（ルークス：4人乗り）
目的地 医療機関、金融機関等
利用登録 25人
利用回数 延べ453回

⑨神山区移動支援の会（令和6年4月4日発足）

<活動内容>

実施日 毎月第1・3木曜日（喫茶みちくさ）
毎月第2・4水曜日（元気になろう会）
使用車両 社会福祉法人復生あせび会「あせびの家」車両（ヴィッツ：5人乗り）
自家用車
目的地 神山区公民館
利用人数 延べ50人

協定締結 令和7年3月24日(月)

⑩高根地区買い物支援(令和6年10月8日発足)

<活動内容>

実施日 毎月第2火曜日

使用車両 社会福祉法人博友会「特別養護老人ホームケアハウスすずらん」車両
(ハイエース:8人乗り)

目的地 セルバ古沢店

利用人数 延べ53人

協定締結 令和6年9月17日(火)

(3) 住民参加型生活支援事業「あったかサポート」

高齢者を中心とした日常生活のちょっとした困りごと(ゴミ出し、部屋の片づけ、庭の草取りなど)を地域住民が相互の助け合いにより行う、会員制の住民参加型有償在宅福祉サービスの普及を図った。

令和6年度は39人の利用登録があり、支援員26人で支援を行った。

<料金等>

利用料金 15分150円

年会費 1,000円

<活動実績>

年間計 257件(令和5年度184件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
草取り	8	13	10	13	12	10	4	4	0	0	0	0	74
掃除関係	4	5	6	5	5	4	7	11	11	11	11	13	93
ゴミ捨て	0	0	1	0	5	4	5	4	5	7	8	8	47
除草剤散布	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
墓掃除	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
引越手伝い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家具移動	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
剪定作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窓拭き	0	0	0	0	1	0	0	3	3	1	0	1	8
落葉片付け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整理整頓	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4

話し相手	0	0	0	0	3	3	2	2	1	2	2	2	17
受診付添い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銀行付添い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
買物支援	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	3	1	9
洗濯物支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	19	20	19	28	21	18	25	21	25	24	25	257

(4) 居場所への支援

市内 17 か所の居場所への訪問、架電により運営支援や参加者のニーズ把握を行った。

①さんぽ路（東山区） ※平成 26 年 12 月発足（休止中）

②富士見原カフェ（富士見原区） ※平成 29 年 4 月発足

③ささえあいカフェ（西田中区） ※平成 29 年 4 月発足

④ふれんどカフェ（鮎沢区） ※平成 29 年 5 月発足

⑤寄ってかつしゃあ〜（杉名沢区） ※平成 29 年 5 月発足

⑥なごみ（二の岡区） ※平成 29 年 5 月きつきごえんとして発足

令和 5 年度からふれあいいいきサロン「二の岡ふれあいサロンなごみの会」と居場所「きつきごえん」が合併し、居場所「なごみの会・ごえん」として活動。

令和 6 年度から居場所「なごみ」に名称変更。

⑦スルガのサロン（萩原区） ※平成 29 年 6 月発足

⑧おしゃべり処シャンシャン中畑（中畑東区） ※平成 30 年 1 月発足

⑨ピンポンサロン（中山上区） ※平成 30 年 1 月発足

⑩ウエルカフェ茶話やか（新橋区） ※平成 30 年 2 月発足（休止中）

⑪ふらり中山（中山下区） ※平成 30 年 4 月発足

⑫喫茶みちくさ（神山区） ※平成 30 年 11 月発足

⑬昭和浪漫倶楽部 ※令和 2 年 1 月発足

⑭御殿場ことば保存会 ※令和 4 年 10 月発足

⑮しゃぎ倶楽部 ※令和 4 年 11 月発足

⑯あ〜ん ※令和 4 年 12 月発足

⑰森之腰区みんなの居場所 ※令和 7 年 4 月発足

⑱オレンジカフェみくりや ※平成 29 年 7 月発足

(5) 第1層生活支援・介護予防協議体

構成員

区長会 1人・民生委員児童委員協議会 1人・ボランティア連絡協議会 1人・地域福祉推進委員会 6人・ボランティア 1人・社会福祉法人 1人・地域包括支援センター 5人・行政 1人・社会福祉協議会 1人・生活支援コーディネーター 2人（計 20人）

○第1回会議

日時 令和6年9月17日（火）午後2時から3時30分まで
会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」
出席者 委員 14人、事務局 7人
内容 ①生活支援コーディネーターの活動について
②第2層協議体会議「認知症についてともに考える」について

○第2回会議

日時 令和7年2月25日（火）午前10時から11時30分まで
会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」
出席者 委員 18人、事務局 8人
内容 生活支援コーディネーターの活動について（下半期）

(6) 第2層生活支援・介護予防協議体 ※資源開発

御殿場市では、6地区の地域福祉推進委員会が第2層協議体を担う。

第2層協議体構成員がサロン活動や見守り安否確認を行うなど、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような地域づくりを進めた。

○「認知症についてともに考える」座談会

玉穂地域福祉推進委員会（令和6年6月6日実施：参加者 24人）
原里地域福祉推進委員会（令和6年6月17日実施：参加者 30人）
高根地域福祉推進委員会（令和6年7月1日実施：参加者 37人）
印野地域福祉推進委員会（令和6年7月17日実施：参加者 45人）
富士岡地域福祉推進委員会（令和6年7月19日実施：参加者 31人）
御殿場地域福祉推進委員会（令和6年7月22日実施：参加者 32人）

○印野区買い物支援グループに関する打合せ

令和5年6月から印野地区をモデル地区として稼働。その後、9月から時之栖区、小木原区も加わり印野地区全域で本格稼働となった。

以下印野区買い物支援グループ 17 人による買い物支援立上げに関する打合せ

第 17 回目 令和 6 年 4 月 2 日（火）

第 18 回目 令和 6 年 6 月 18 日（火）

第 19 回目 令和 6 年 8 月 1 日（木）

第 20 回目 令和 6 年 10 月 1 日（火）

第 21 回目 令和 6 年 12 月 3 日（火）

第 22 回目 令和 6 年 2 月 7 日（金）

○森之腰区居場所支援に関する打合せ

①令和 6 年 4 月から本格稼働となり、基本的には毎週火曜日午後 1 時から 4 時まで実施している居場所の運営に関する相談、支援を行った。

②令和 6 年度から保険者である市役所長寿福祉課が開始した「介護予防・日常生活支援総合事業」における住民主体サービス（通所サービス B）事業補助金に関する住民への説明、包括支援センターとの連絡調整、申請書の作成に関する支援を行った。

○富士岡地区服薬見守りボランティア

日常生活は自立しているものの、記憶力の低下などの理由により、病院で処方された、薬を飲み忘れてしまう方を対象にボランティア 6 人により電話で服薬の確認及び呼びかけを行った。

打合せ

第 1 回 令和 6 年 4 月 23 日（火）

第 2 回 令和 6 年 6 月 19 日（水）

本格稼働 令和 6 年 6 月 24 日（月）の午前 9 時 30 分から 10 時 30 分までの間に電話で確認及び呼びかけを開始した。

○大坂区ふれあいの居場所立上げに関する打ち合わせ

打合せ

実施日 令和 6 年 11 月 22 日（金）

会場 大坂地区コミュニティ供用施設

参加者 大坂区住民、社会福祉協議会職員

見学会

実施日 令和 6 年 12 月 19 日（木）

会場 中山中央公民館（ふらり中山）、神山区公民館（喫茶みちくさ）

(7) マッチング（生活支援等サービス冊子）

市内の「家事援助サービス」「交流の場・通いの場」「移動支援」等の情報をまとめた冊子を作成し、第1層生活支援・介護予防協議体委員、市役所支所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、地域福祉推進委員、配布を希望する市民等に配布した。(150冊)

(8) 地域包括支援センターとの連携

地域包括支援センターとの規範の統合を図った。

- ・地域ケア個別会議(偶数月第3金曜日)
- ・地域ケア会議(5地域包括支援センターからの要請による)
- ・地域包括支援センターセンター長会議(毎月第3木曜日)
- ・御殿場市高齢者地域ケア会議に関する課題共有
- ・介護予防・日常生活支援総合事業における住民主体サービス(通所サービスB)事業補助金に関する地域包括支援センターとの連絡調整

(9) 会議、研修会への参加・協力

①令和6年度生活支援コーディネータースキルアップ研修

実施日 令和6年12月20日(金)

対象 行政、第1層・第2層SCほか

内容 「生活支援体制整備事業のあり方と地域づくり」

講師 日本社会事業大学 専任講師北川 進氏

実践報告 富士市役所・御殿場市社協・伊豆市土肥包括支援センター

②令和6年度地域ケア会議活用推進研修

実施日 令和6年12月23日(月)

対象 行政、地域包括支援センター、第1層・第2層SCほか

内容 地域ケア会議の基本的理解について、グループワーク等

③第4回SC情報交換会

実施日 令和7年1月29日(水)

対象 行政、第1層・第2層SCほか

内容 リレー式実践“失敗談”

発表者 西伊豆町社協、下田市社協、御殿場市社協、函南町社協、長泉町社協、袋井市社協、磐田市社協

○主管課(御殿場市健康福祉部長寿福祉課)との打ち合わせ

実施日 毎月1回

9 高齢者福祉活動

(1) ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会の開催

この事業は、ライオンズクラブ等を発起人として、昭和 61 年 11 月以来、毎月第 2 木曜日に、市内の 70 歳以上の独居高齢者を対象に開催している事業。

四季折々の食材を取り入れた食事を提供し、独居高齢者の食生活の改善、地域包括支援センター菜の花による健康相談や、わらび会等ボランティアの協力を得て、この活動の恒常化と福祉コミュニティ形成を図った。

昭和 61 年 11 月に事業開始以来、令和 7 年 3 月までに通算 457 回開催した。

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ホールほか

対象者 96 人（新規 13 人・中止 11 人を含む。）

※令和 7 年 3 月現在 84 人（令和 6 年 3 月現在の 83 人より 1 人増）

開催日	内容	協力団体等	独居高齢者参加者数	
			令和 6 年度	令和 5 年度
4/11	お花見※富士霊園	社会福祉協議会事務局	60 人	61 人
5/9	健康講座	包括支援センター菜の花	60 人	64 人
6/13	楽器演奏	みんな TOMODACHI	58 人	64 人
7/11	紫陽花の舞	桜花会	56 人	58 人
8/8	450 回記念会食会 小学生カレー大会 吹奏楽	韓国建陽大学学生 小学生福祉体験 静岡県立小山高校吹奏楽部	59 人	56 人
9/12	秋風の舞 空き家出前講座	御殿場民踊グループ 行政書士	55 人	58 人
10/10	フラダンス・寸劇	フラサークル オハナ りんごの会	57 人	58 人
11/14	園児と遊ぼう 詩吟	御殿場市立原里幼稚園 みくりや正吟会	61 人	53 人
12/12	クリスマス会	御殿場ライオンズクラブ	61 人	62 人
1/9	大正琴のしらべ	大正琴中尾教室	60 人	58 人
2/13	和菓子作り実演 ボッチャ体験	株式会社虎屋御殿場工場 市スポーツ推進委員会	64 人	57 人
3/13	大演芸大会	参加者	63 人	62 人

参加者延べ数	714人	711人
--------	------	------

(2) 地域ふれあい事業の助成

シニアクラブ御殿場市が会員相互のふれあいを目的として実施する事業の事業費助成を行った。

- ・市老連地域ふれあい事業助成金 4件 920,000円

10 福祉車両及び福祉機器等貸出事業

(1) 福祉車両の貸出し

自力での外出が困難な高齢者や障害者、福祉団体等に福祉車両を貸し出し、福祉車両運転ボランティアの会「たんぼぼ」会員の運行への協力を得て在宅福祉の推進を図った。また、毎週月・水・金曜日には、同会役員の協力を得て、運転ボランティアコーディネーターを配置し、利用者からの電話による申込みを受け付け、運転者の調整等を行った。

(利用登録者数：約 150人)

使用車両

- ①ホンダフリードリフトアップシート (4人乗後席リフトアップシート付車両)
- ②トヨタシエンタウエルキャブ (5人乗スロープ付車両 内車椅子利用者1人)
- ③日産キャラバンチェアキャブ (10人乗リフト付車両 内車椅子利用者2人)

使用実績

区分	令和6年度			令和5年度		
	フリード	シエンタ	キャラバン	フリード	シエンタ	キャラバン
合計	368件	332件	181件	347件	299件	199件
	881件			845件		

(2) 車椅子等の貸出し

在宅で生活する歩行困難な方、学校、企業や地域で福祉教育及び体験学習等を目的として活動する方々に車椅子の貸出しを行った。

区分		令和6年度 件数	令和5年度 件数
車 椅 子	在宅介護者	232	211
	学校・企業・地域等	20	20
	小計	252	231
その他		0	8

計	252	239
---	-----	-----

11 地域包括支援センター事業（菜の花）

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うため、24時間体制で相談対応を行った。地域ケア会議の開催、健康増進のための一般介護予防事業の取組、さらに要支援1・2及び事業対象者に対して自立支援のためのケアマネジメントを行った。

<担当地域> 玉穂地区・高根地区

<職員体制> 4人 24時間体制（夜間は電話対応等）

(1) 相談状況

①相談経路 (単位：件)

	家族	本人	隣人 知人	民生 委員	事業 者	ケアネ 包括	行政	医療 機関	その 他・ 不明	計
来所	61	37	7	1	45	8	5	1	3	168
電話	508	410	15	11	614	60	132	235	34	2,019
訪問	490	980	21	6	227	55	72	77	24	1,952
その他	1	1	0	0	1	4	3	0	1	10
計	1,060	1,427	43	18	887	127	212	313	62	4,149
(再掲) 夜間	6	7	0	0	1	0	0	0	0	14
(再掲) 休日	24	36	2	1	22	2	3	3	2	95

②対象者の区分 (単位：件)

	要支援1	要支援2	要介護	事業 対象者	一般・ 不明	計
相談件数	886	1,241	188	97	1,737	4,149
独居	466	557	63	81	681	1,848
高齢者世帯	135	148	74	9	385	751
その他・不明	285	536	51	7	671	1,550

③介護予防プラン作成件数 (単位：件)

	要支援1	要支援2	事業対象者	計
介護予防プラン作成	656	581	88	1,325
うち新規作成	22	12	2	36

(2) 出張相談の実施

高齢者の総合相談窓口の一環として、出張相談を行った。

- ・玉穂第2団地集会所 偶数月の第3水曜日 午前10時から11時まで
- ・玉穂第4団地集会所 奇数月の第3水曜日 午前10時から11時まで
- ・J Aふじ伊豆高根支店 毎月原則15日 午前9時30分から10時30分まで

(3) さわやか女性塾（尿失禁予防教室）の開催

全9回開催。初回と最終日に講師を招き、尿失禁に関連した基本的な知識、生理的作用、予防のための体操を学んだ。問診表を作成、個別相談にも対応し、5か月間にわたり尿失禁予防のための骨盤底筋体操を行った。

・講演会

日時 令和6年7月11日（木）午後1時30分から3時30分まで
会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」大広間
参加者 市内在住の概ね65歳以上の女性28人（令和5年度13人）

・体操教室

実施日 令和6年7月25日、8月8日、8月22日、9月12日、9月26日、
10月10日、10月24日、11月14日、11月28日（計9回）
時間 午後1時30分から3時まで
会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」大広間
参加者 御殿場市内に在住の希望者延べ187人（令和5年度106人）

(4) 高齢者支援ネットワーク

健康、福祉、介護などの公的なサービス機関、地域の組織や自治会等が連携をし、地域の高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるように、高齢者支援ネットワークの構築に継続して取り組んだ。

・玉穂地域 高齢者支援ネットワーク推進会議

日時 令和6年7月30日（火）午後1時30分から3時まで
会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」第3・4会議室
内容 令和5年度地域包括支援センター菜の花活動報告
玉穂地域高齢者支援ネットワークの目的と役割について
令和5年度市地域ケア会議による地域課題「認知症について」の報告
各委員の立場から「認知症」に関する意見交換

・玉穂地域 地域ケア会議

日時 令和7年2月18日（火）午後2時から3時まで

会場 対象者の居住区コミセン
内容 認知症のある独居高齢女性の在宅支援の方法について

・高根地域 高齢者支援ネットワーク推進会議

日時 令和6年8月1日（木）午後1時30分から3時まで

会場 高根支所集会室

内容 令和5年度地域包括支援センター菜の花活動報告
高根地域高齢者支援ネットワークの目的と役割について
令和5年度市地域ケア会議による地域課題「認知症について」の報告
各委員の立場から「認知症」に関する意見交換

・高根地域 地域ケア会議

日時 令和7年3月13日（木）午後3時30分から4時45分まで

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」第2会議室

内容 猫の多頭飼育、金銭管理など課題の多い独居高齢者の支援方法について

(5) おしゃべりカフェ菜の花の開催

平成27年から玉穂、高根地区の居場所として「おしゃべりカフェ菜の花」を開催している。外出の機会が減ることで閉じこもり生活にならないように頭の体操、運動、ゲームなどを行い、高齢者の生活の活性化に取り組んでいる。

・参加者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	15	19	14	14	14	12	14	12	10	15	17	171

(6) その他

- ・地域包括支援センターの周知のため、年6回、広報紙「菜の花だより」を発行
- ・介護保険申請後の住宅改修相談や施工のための手続を実施
- ・成年後見制度、日常生活自立支援事業への支援、虐待対応等の権利擁護への取組
- ・独居高齢者「ふれあい会食会」（毎月第2木曜日）での血圧測定、健康相談の実施
- ・地区サロンで血圧測定や健康についての講話や体操を実施
- ・職員の資質向上のための研修等に参加
- ・居宅介護支援事業所ケアマネジャーとの事例検討会の開催
- ・医療介護連携相談員を主体に、在宅医療と介護の連携、研修への参加
- ・認知症地域推進員を主体に、市の認知症施策への参加、行事等での講話

- ・第1層、第2層生活支援・介護予防協議体会議に参加
- ・御殿場看護学校の実習生の受入れ

12 居宅介護支援事業（ケアプラン作成事業）

(1) 事業内容

在宅での生活を希望し要介護認定を受けた方が、介護保険のサービスを利用し、居宅において個々のニーズに合わせた保健・医療・福祉サービスが適切に利用できるよう介護保険法に基づき居宅介護計画（ケアプラン）を作成し、利用者に提供した。

他に以下の業務を実施した。

- ・地域包括支援センターからの委託を受け、要支援1・2の認定を受けた利用者の予防プランを作成し提供した。
- ・主任ケアマネジャーを配置し、24時間体制（夜間は電話対応）とし、特定事業所として業務を実施した。
- ・要介護認定及び更新・変更申請の代行、介護保険施設・病院などの紹介を行った。
- ・利用者や外部からの苦情処理に対し、迅速な対応を行った。
- ・医療機関と積極的に連携し、入院・退院時の支援、受診の支援、在宅医療の支援を医師・看護師・薬剤師・MSW等との協働のもと実施した。
- ・介護保険対象外のケースも、依頼に応じて相談などの支援を行った。
- ・地域福祉課・福祉事務所と連携し、生活困窮者の支援に協力した。
- ・他の事業所では対応が困難な利用者も積極的に受け入れた。
- ・地域包括支援センター菜の花に協力し、菜の花見守りネットワーク会議に参加した。
- ・事例検討会・グループスーパービジョン時に地域包括支援センター職員から、助言指導を受けた。
- ・市内の主任介護支援専門員連絡会を通して「地域ケア会議」の有効活用・実施拡大に努めた。
- ・県・市介護支援専門員連絡協議会や関係機関主催の研修会に参加し、参加者と積極的に情報交換も行うことで、資質向上・人間関係の拡大を図った。
- ・市介護支援専門員連絡協議会主催の合同事例検討会に参加、また他法人の居宅介護支援事業所とも自主的な事例検討を行い相談援助職者相互の資質向上を図った。
- ・ヤングケアラー、障害者、生活困窮者、難病患者等、他制度に関する、知識に関する事例検討会、研修等に参加した。
- ・事業所内でも週1回定期的な会議を開催し、各担当者が抱えた事例の対応方法を検討し、サービス向上につなげた。

(2) 職員体制

介護支援専門員 8人（常勤8人）

(3) 利用者数

平均担当数 介護支援専門員1人当たり平均30.16人

(4) 利用料

原則利用者負担なし（ただし、保険料を1年間滞納していると全額負担）

利用者 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	230	229	237	243	239	241	244	248	246	249	249	241

利用実績

区分		令和6年度	令和5年度
居宅介護支援	延べ利用者数	2,896人	2,760人
計画作成	利用料金	47,402,390円	44,886,460円
介護予防支援	延べ利用者数	217件	258件
計画作成	利用料金	1,049,804円	1,091,568円
住宅改修手数料等		0円	0円
補助金事業収入		0円	30,000円
収入合計		48,452,194円	46,008,028円

13 訪問介護事業（ホームヘルプサービス事業）

[高齢者サービス事業]

(1) 事業内容

要介護者・要支援者の家庭にホームヘルパーを派遣し、利用者本人が可能な限り住み慣れた自宅で自分らしく日常生活を送れるよう、又は介護をしている家族の負担を軽減するために必要な支援を行った。

また、介護予防・日常生活支援総合事業の要支援1・2及び事業対象者となる利用者に対して、地域包括支援センター等関係機関・事業所との連携を密にしてサービスを継続提供した。

(2) 職員体制

訪問介護員 6人（常勤3人・非常勤3人）

サービス提供責任者 3人（常勤3人兼務）

(3) サービス提供時間

年中無休（ただし、12月29日から1月3日までを除く。）

午前7時から午後7時まで

(4) 利用料金（個人負担金）

基本的に厚生労働省の定める金額の1割

(5) サービス内容

①身体介護・・・食事、排せつ、入浴、着替え、歩行などの介助

②生活援助・・・買い物、調理、掃除、洗濯など日常生活に必要な家事

月別実利用者数

（単位：人）

区分（月）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
介護保険訪問介護	20	20	20	20	19	22	25	23	23	22	21	19	21.2
介護予防・日常生活支援総合事業	12	12	14	13	10	10	8	7	6	6	6	6	9.2
計	32	32	34	33	29	32	33	30	29	28	27	25	30.4

利用実績

区分		令和6年度	令和5年度
介護保険訪問介護	延べ利用回数	2,039回	1,826回
	利用料金	9,655,460円	8,203,974円
介護予防・日常生活支援総合事業	延べ利用回数	467回	653回
	利用料金	1,882,637円	2,572,827円
介護保険制度外契約等		77,000円	268,540円
養育支援訪問事業受託金		290,160円	204,000円
補助金事業収入等		43,916円	30,000円
収入合計		11,949,173円	11,279,341円

(6) その他

・利用者の諸事情により介護保険外サービスも提供した。

- ・訪問介護員の資質向上のため、定期的な研修会を実施した。
- ・介護指導（個人に対して要請に応じ）を実施した。

[障害福祉サービス事業]

(1) 事業内容

障害者総合支援法に基づき、65歳未満の障害者（知的障害、精神障害、身体障害）を対象に、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、障害福祉サービス（居宅介護）を行った。

(2) 職員体制

訪問介護員 6人（常勤3人・非常勤3人） ※高齢者サービス事業兼務

(3) 利用時間（サービス提供時間）

年中無休（ただし、12月29日から1月3日までを除く。）
午前7時から午後7時まで

(4) サービス内容

- ①身体介護・・・日常的に介護を必要とする方の場合
着替え、トイレ介助、食事介助、入浴介助、体位交換、足浴、洗髪、清拭など
- ②家事援助・・・御本人や家族が家事を行うことが困難な場合
調理、洗濯、掃除、買い物、衣服の整理など

月別実利用者数

(単位：人)

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
障害福祉居宅介護		13	12	13	13	13	13	14	14	14	13	14	16	13.3

利用実績

区分		令和6年度	令和5年度
障害福祉居宅介護	延べ利用回数	1,459回	1,522回
	利用料金	6,277,074円	5,681,240円
制度外契約等		0円	59,000円
収入合計		6,277,074円	5,740,240円

14 通所介護事業（老人デイサービスセンター事業）

(1) 事業内容

介護保険法の趣旨に従って、利用者が可能な限り在宅で日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図るとともに、利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的として事業を実施した。

また、介護予防・日常生活支援総合事業の要支援 1・2 及び事業対象者となる利用者に対して、地域包括支援センター等関係機関・事業所との連携を密にしてサービスを継続提供した。

(2) 職員体制

18 人	内訳：生活相談員	4 人（常勤兼務）
	看護職員	4 人（常勤 2 人・非常勤 2 人）
	介護職員	12 人（常勤 8 人・非常勤 4 人）
	運転手	2 人（非常勤）

(3) サービス提供時間

年中無休（ただし、12 月 29 日から 1 月 3 日までの年末年始を除く。）

午前 9 時 10 分から午後 4 時 15 分まで（7 時間 5 分）

(4) 利用料金（個人負担）

基本的に基準額の 1 割（介護度により金額は異なる。）

昼食弁当・おやつ・お茶代 700 円（利用毎）

(5) サービス内容

- ①送迎 車椅子対応の車両で市内無料送迎を行った。
- ②健康チェック 常駐している看護師が、血圧・検温・健康チェックを行った。
- ③入浴 温泉のような大きな浴槽の一般浴、座位のまま肩まで温まれる個室浴槽、寝たままでも入浴できる特別浴槽があり、その方に合わせた 3 タイプ浴槽により入浴サービスを提供した。
- ④食事 外注のお弁当（毎回バラエティーに富み、季節や行事に合わせたメニューで好評）を、利用者の好みを聞きながら、お粥やキザミ

対応等、食べやすいよう工夫して提供した。

また、毎朝の来所時ウェルカムドリンクを、お茶と淹れたてコーヒーの2種類から選択してもらい提供した。

⑤機能訓練

交流センターの立地・特性をいかし、季節や天候に合わせて館内、施設外周・芝生広場等への散歩、室内展示物等の見学を機能訓練の1つとして実施した。

また、実施される催事・イベントに一般の方々と同様に参加した。希望者には、ペダルこぎ、段昇降を実施した。

(6) その他

- ・利用者が誕生月になると、お祝いの言葉及び写真（利用者写真・集合写真）を職員自作のフォトフレームにて装飾し、花束と一緒に利用者毎にプレゼントした。
- ・ひな祭り、端午の節句、敬老の日、クリスマス会等、季節に合わせた行事や制作活動を実施した。
- ・利用者及び家族にサービス内容を理解して安心して御利用いただくために、お試し利用（1回無料）を実施した。

月別実利用者数

(単位：人)

区分 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
介護保険通所介護	67	68	69	73	73	73	75	72	77	71	73	68	71.6
介護予防・日常生活支援総合事業	18	19	20	21	20	19	17	19	17	15	11	11	17.8
計	85	87	89	94	93	92	92	91	94	86	87	82	89.4

利用実績

区分		令和6年度	令和5年度
介護保険通所介護	延べ利用回数	7,931回	7,924回
	利用料金	72,453,359円	69,751,723円
介護予防・日常生活支援総合事業	延べ利用回数	1,344回	1,548回
	利用料金	6,433,656円	6,765,051円
食費負担金収入		6,650,960円	6,869,540円
介護保険制度外契約等		187,411円	653,584円
補助金事業収入等		175,199円	140,000円
収入合計		86,092,041円	84,179,898円

15 心身障害児（者）福祉活動

(1) 生活介護事業所「あけぼの」

平成 23 年 4 月 1 日、生活訓練ホームから障害者総合支援法事業施設として生活介護事業所に移行し、常時介護を必要とする方々に、主として昼間入浴、排せつ及び食事などの介護、創造的創作活動又は生産活動の機会の提供、その他必要な援助を行い、身体機能又は生活能力向上のための施設として充実を図った。

なお、一部行事については、感染症（コロナ禍）の影響で中止とした。

◎対象者

知的障害者・身体障害者（障害支援区分 3 以上）

◎利用者

御殿場市・小山町・沼津市・三島市・長泉町 在住者 20 人（男 8 人・女 12 人）

◎利用状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ人数	241	266	237	241	227	234	266	250	246	234	231	241	2,914
前年度													3,038

◎日中一時支援事業利用状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
全利用者数	29	31	30	32	29	21	37	29	35	35	31	37	376	477

◎主要サービス

- ・生活全般の援助
- ・送迎サービス（公用車 4 台）
- ・入浴サービス（月・水・金曜日又は週 3 回）
- ・足浴（月 2 回）
- ・運動指導サービス（理学療法士・作業療法士により月 2～4 回）
- ・食事指導サービス（言語聴覚士により年 3 回）
- ・外出活動（初詣、花見、芋掘り、ボウリング大会、ロビーコンサート等）
- ・調理実習（皆で協力して作り、食べることの楽しさを共有する。）
- ・音楽療法（音楽療法士指導）月 1 回
- ・リトミック（毎日、音楽と体操〈体とお口の体操〉を行う。）
- ・園芸活動（種を蒔き育て、一年を通して木や花の成長を楽しむ。）
- ・保健衛生支援（嘱託医の内科検診、歯科医の歯科検診）各年 1 回
- ・スポーツ（歩行訓練、散歩、風船バレーボール、ボッチャ、ボウリング等）

- ・レクリエーション（各種ゲーム、ボウリング、スイカ割り、水遊び、輪投げ、釣り、すごろく等を行う。）

<主要行事>

外出活動 4 回	4 月花見、10 月芋掘り、11 月ボウリング大会、1 月初詣
創作活動（毎月）	壁面づくり
歯科検診	6 月石田歯科
内科健診	11 月渡辺整形外科内科医院
防災訓練 5 回	5 月、7 月、9 月、11 月、1 月
調理実習 2 回	7 月、3 月
施設行事 3 回	4 月入所式、10 月ミニフェス、12 月クリスマス会

◎その他行事

- ・12 月障害者週間参加、作品展示
- ・御殿場市民交流センター「ふじざくら」1 階無人販売コーナーへの出品

(2) 地域ふれあい事業の助成 ※障害者ささえあい見守り啓発

障害当事者団体と地域住民とのふれあいを目的として実施する事業の事業費助成を行った。

- ・福祉団体地域ふれあい事業助成金 3 件 145,000 円

16 御殿場市民交流センター「ふじざくら」指定管理事業

平成 20 年 10 月 1 日から、当社会福祉協議会を代表団体に、御殿場総合サービス株式会社と公益社団法人御殿場市シルバー人材センターを構成団体とする御殿場市社会福祉協議会グループにより御殿場市民交流センター管理事業を受託し、それぞれの組織の特徴・能力・ノウハウを最大限にいかして、「市民の総合交流、市民活動の推進及び児童福祉、高齢者福祉と総合的福祉機能を持った施設機能をいかして市民サービスの向上」に取り組んだ。

○令和 6 年度の実績

- ・車の誤操作による飛び込み事故防止のバリカー設置
(ゆずりあい駐車場・西側駐車場)
- ・駐車場照明の LED 化を行った。
- ・貸室等の Wi-Fi 導入の周知広報を行った。(令和 6 年 3 月 1 日導入)
- ・利用者及び御殿場市によるモニタリングでも、高い評価を得ることができた。

利用者モニタリング評価：96.9点、御殿場市評価 96.7点

(1) 月別利用状況

(単位：人)

	1・2階部分						地下1階 介護保険事業		視察 見学	合計
	会議室 等	子ども 家庭セ ンター	市民活 動室	ボラン ティア ビュー ロー	ふれあい相 談センター		デイサ ービス	居宅 介護 ・ ヘル パー		
					相 談 室	菜 の 花				
4月	5,587	3,198	490	352	51	38	792	104	0	10,612
5月	6,131	2,725	383	338	48	46	941	113	0	10,725
6月	6,876	3,317	459	309	65	38	804	106	0	11,974
7月	8,891	3,503	509	336	47	39	856	102	0	14,283
8月	5,795	3,613	524	229	38	45	715	90	0	11,049
9月	9,484	3,652	680	289	50	47	824	90	0	15,116
10月	8,273	2,949	489	212	33	26	866	102	0	12,950
11月	7,825	2,718	447	276	38	39	847	100	0	12,290
12月	6,402	2,240	283	301	69	42	737	101	6	10,181
1月	6,351	2,740	325	164	47	35	713	84	9	10,468
2月	6,286	3,103	127	253	42	35	710	89	15	10,660
3月	8,041	3,815	446	355	43	38	761	79	0	13,578
合計	85,942	37,573	5,162	3,414	571	468	9,566	1,160	30	143,886
前年度	84,978	39,424	6,872	3,354	581	461	9,647	984	68	146,369

(2) 御殿場市民交流センター自主事業

(市民交流事業)

	事業名	参加者数	備考
1	おのりん体育あそび教室	延 99 人	4/10～2/19 (6回)
2	みんなで花壇に花を植えよう「春」	20 人	6/11 (市老連・親子)
3	ふじざくらサマーフェスティバル	2,000 人	7/27
4	つまみ細工教室	45 人	9/15、2/16

5	ふじざくら秋まつり	1,000人	10/26
6	みんなで花壇に花を植えよう「秋」	13人	11/11 (市老連・親子)
7	第14回交流センターまつり&シルバーまつり	2,300人	3/9

(社会福祉事業)

	事業名	参加者数	備考
8	ふじざくらシニア大学 (第58回寿大学)	受講 23人	4/25~3/20 (全11回)
9	第31回シルバー大学院	受講 15人	6/14~1/10 (全7回)
10	御殿場探訪	受講 25人	5/8~11/13 (全6回)
11	絵手紙教室	受講 12人	6/15~11/16 (全6回) 作品展示 10/20~11/2
12	カラオケ教室	延 616人	4/22~3/25 (年24回)
13	ふじざくらはつらつ教室	受講 27人	11/8~12/6 (全4回)

(施設活性化事業)

	事業名	参加者数	備考
14	ロビーコンサート	延 230人	8/23、12/17、1/21

(協力・支援事業)

	事業名	展示場所	備考
15	御殿場絵画教室アトリエ作品展	展示コーナー	4/2~4/9
16	大野すゑ子油彩画展	展示コーナー	4/11~4/18
17	やまがら水彩画クラブ作品展	展示コーナー	5/11~5/25
18	陳維&明書会展「詩韻墨影写華夏」	展示コーナー	6/20~7/4
19	河川美化啓発イラストの展示	交流ロビー	7/30~8/13
20	御殿場絵画教室アトリエ作品展	展示コーナー	7/30~8/13
21	第21回富士山へ謹賀新年~富士山宛 年賀状~入賞・入選作品巡回展	交流ロビー	9/4~9/18
22	認知症啓発展示	交流ロビー	9/19~9/26

23	市子連写生大会展示	展示コーナー	9/23～10/6
24	国立駿河療養所及びハンセン病問題啓 発パネル展	交流ロビー	9/30～10/8
25	書典会作品展	展示コーナー	10/11～10/18
26	元気わくわくごてんばフェスタ 2024	交流ロビー	10/12～10/19
27	社会福祉協議会「障害者週間展示」	交流ロビー	11/29～12/13
28	クリスマスツリー展示	交流ロビー	12/12～12/25
29	明書会・野鳥写真コラボ作品展	展示コーナー	1/4～1/16
30	社会福祉協議会「災害ボランティア活動 展示」	交流ロビー	1/17～1/31
31	ふじおやまフォトクラブ写真展	展示コーナー	1/19～2/2
32	ごてんばの富士山豆博士展	交流ロビー	2/21～3/5
33	御殿場絵画教室アトリエ作品展	展示コーナー	3/28～3/31

(3) その他

○御殿場市デジタル地域通貨「富士山Gコイン」の販売協力

・プレミアム付デジタル商品券代行販売業務請負

第1弾 期間：6/26～8/31 取扱件数：1,803件

第2弾 期間：12/17～1/31 取扱件数：1,223件

17 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等、判断能力が低下している方に対して、その方ができるだけ自立して地域生活が送れるよう、専門員による調査、契約の後、生活支援員を派遣することにより、日常的な金銭管理や福祉関連サービスの利用契約支援、権利侵害からの見守りなどを行った。

(1) 契約件数（解約を含む。）

計		22件
内 訳	認知症高齢者	8件
	知的障害者	6件
	精神障害者	1件
	その他（上記以外の方）	7件

(2) 事業内容

支援計画の策定、管理 生活支援員の配置、派遣	
(日常生活支援)	(日常的金銭管理)
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス等の利用支援 (サービスの説明・情報提供、手続きの援助、申込みの同行・代行支援等) ・日常生活の見守り (福祉サービスの実施状況の確認、虐待・消費被害の発見等) ・郵便物、書類等日常生活の事務処理援助 ・預貯金通帳、権利証等重要書類の保管 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活のための預貯金の出入金 ・福祉サービス利用料の支払い ・公共料金・日用品等の代金の支払い ・医療費の支払い ・病院・施設による金銭管理の見守り

(3) 利用料金

相談料…無料

サービス利用料 (契約後の支援) …1,200 円/1 回 (生活保護受給者は無料)

(4) 問合せ件数 (制度、事業について)

計		19 件
内 訳	認知症高齢者	8 件
	知的障害者	2 件
	精神障害者	1 件
	その他 (上記以外の方)	8 件

(5) 初回相談件数

計		19 件
内 訳	認知症高齢者	8 件
	知的障害者	2 件
	精神障害者	1 件
	その他 (上記以外の方)	8 件

(6) 相談援助件数 (年間支援回数)

計		399 件
内 訳	認知症高齢者	133 件
	知的障害者	117 件
	精神障害者	22 件
	その他 (上記以外の方)	127 件

(7) 新規契約締結件数

計		7 件
内 訳	認知症高齢者	5 件
	知的障害者	2 件
	精神障害者	0 件
	その他 (上記以外の方)	0 件

(8) 事業説明会

令和 7 年 2 月 25 日（火） 「社会福祉諸制度説明会」

御殿場特別支援学校高等部保護者対象

18 成年後見事業（御殿場市成年後見支援センター事業）

令和 3 年 4 月 1 日、御殿場市からの委託を受け、御殿場市民交流センター「ふじざくら内」に御殿場市成年後見支援センターを開所した。

(1) 法人後見の実施

認知症や障害等により判断能力が低下した方に対して、その方の権利を護り、その人らしい生活の維持を支援するために、家庭裁判所の選任により、法人としての御殿場市社会福祉協議会が後見人等（成年後見人、保佐人及び補助人）を受任する事業を実施した。

令和 6 年度受任件数	受任中	22 件	（後見 13 件、保佐 6 件、補助 3 件）
	監督中	3 件	（後見 3 件）
	終了	6 件	（成年被後見人 死亡 4 件 被保佐人 死亡 1 件、被補助人 死亡 1 件）

(2) 成年後見制度に関する普及・啓発

①令和 6 年 6 月 20 日（木）

ふじざくらシニア大学に職員 1 名を派遣し、制度説明を実施

②令和 6 年 8 月 25 日（日）

小山町と合同で成年後見制度普及啓発講演会を開催

講師 桂ひな太郎（落語家）、西川浩之（司法書士）

参加人数 99 人

③令和 7 年 2 月 25 日（火）

御殿場特別支援学校高等部 3 年生保護者を対象に職員 2 名を派遣し、制度説明を実施

④御殿場市成年後見支援センターのパンフレットを作成

市内病院・施設等に配布

⑤広報紙（ひだまり No.325）にて、成年後見制度についての周知を実施

(3) 成年後見制度に関する相談

①相談業務（成年後見制度に関する様々な相談に対応）

【受付方法】

電話	来所	訪問	メール	その他	合計
16	16	25	0	2	59

【相談内容】（重複あり）

制度説明	申立支援	後見人支援	任意後見	その他	合計
35	17	0	10	22	84

②県内司法書士に専門職相談を依頼し、司法書士相談を開催（偶数月第2木曜日午後1時から）。5件の相談を受付し、県内司法書士に相談対応を依頼。

(4) 成年後見制度に関する利用促進

市民後見人候補者名簿に16人の市民を登録

16人の中から2人の候補者を推薦し、本会と複数受任にて選任の審判が確定

市民後見人9人に対し、活動支援を実施、うち2人が本人死亡のため、終了。

(5) 市民後見人の養成

①令和6年度御殿場市・小山町市民後見人養成講座に関する説明会の開催

開催日時 令和6年9月5日（木）午後1時30分から

令和6年9月6日（金）午前10時から

開催場所 御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ホール

小山町健康福祉会館

参加人数 17人

②令和6年度御殿場市・小山町市民後見人養成講座の応募受付と選考

受付期間 令和6年9月9日（月）から令和6年9月13日（金）まで

応募者数 12人（うち小山町民3人）

選考結果 選考の結果、応募者全員の受講を可とした

③令和6年度御殿場市・小山町市民後見人養成講座の開講

日程 令和6年10月3日（木）から令和6年12月19日（木）まで

全11回

修了状況 受講者12人（うち小山町民3人）全員が修了

④法人後見支援員へ後見等業務の機会提供及び研修会の開催

法人後見等支援員8人に、月1回の支援を依頼

ア 令和6年11月6日（水）午後1時30分から

法人後見等支援員連絡会を開催（市民後見人も参加）

イ 令和7年2月27日（木）午後1時30分から

外部講師を招き支援員連絡会を開催（市民後見人も参加）

(6) 成年後見制度に関する後見人支援

月曜日から金曜日まで（休日及び年末年始を除く。）相談窓口を開設し、相談受付体制を整備した。

(7) 地域連携ネットワークの構築

主に本会が受任している被後見人等のケース会議を開催し、チーム支援の構築を強化した。

19 母子父子福祉活動

(1) フードドライブ等による食糧支援の実施

御殿場・小山フードバンク協議会等と連携し、令和6年8月、12月、令和7年3月に71～98世帯に対して食糧を配布、支給した。

(2) 母子福祉会活動の助成

御殿場市母子福祉会の活動費助成を行った。

- ・御殿場市母子福祉会事業助成金 1件 30,000円

20 地域福祉活動

各地域福祉推進委員会及び支部・部会の活動充実のため、職員5人を配置し、事業の立案、開催支援、情報提供、関係機関との連絡調整等の支援を行った。

御殿場市高齢者生活支援体制整備事業の受託に伴い、地域福祉推進委員会は第2層協議体としての位置付けがなされている。

(1) 地域福祉推進活動事業費の助成

普通会員会費の加入実績に応じ、各地域福祉推進委員会に対して「地域福祉推進活動事業助成金」を交付した。（会員世帯数×100円）

- ・御殿場地域福祉推進委員会 916,000円（9,160世帯分）
- ・富士岡地域福祉推進委員会 441,400円（4,414世帯分）
- ・原里地域福祉推進委員会 414,700円（4,147世帯分）

- ・玉穂地域福祉推進委員会 249,100 円 (2,491 世帯分)
- ・印野地域福祉推進委員会 50,300 円 (503 世帯分)
- ・高根地域福祉推進委員会 127,700 円 (1,277 世帯分)

(2) 地域福祉研修・連絡会

各地域福祉推進委員会活動の進捗状況を知り、今後の活動に役立てること並びに、より一層の地域福祉活動の推進を図ることを目的として研修・連絡会を開催した。

- 日時 令和 6 年 12 月 16 日（月）午後 1 時 30 分から 3 時まで
- 会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」ボランティアビューロー
- 対象 地域福祉推進委員会委員長及び事務局担当者
- 参加者 18 人（平成 5 年度 18 人）
- 内容 情報交換
 各地域福祉推進委員会活動の進捗状況について

(3) 印野地域福祉推進委員会

当地域は、地域のつながりの希薄化と言われる昨今にあって、それが比較的保たれている地域である。

世代交流事業をはじめ、小回りの効いた多彩な事業が展開された。

[重点目標]

- 1 児童福祉推進事業の充実
- 2 高齢者福祉推進事業の充実
- 3 世代間交流事業の推進
- 4 ボランティアの確保と養成

[事業活動]

- 4 月 11 日 第 1 回印野地域福祉推進委員会総会
- 5 月 8 日 ふれあいのつどい実行委員会
- 6 月 6 日 第 1 回ふれあいのつどい（各コミセンで開催）
- 7 月 3 日 世代交流のつどい実行委員会
- 7 月 17 日 第 2 回印野地域福祉推進委員会／第 2 層協議体会議
- 8 月 17 日 地域交流のつどい
- 10 月 10 日 ふれあいのつどい実行委員会
- 11 月 14 日 第 2 回ふれあいのつどい
- 12 月 9 日 ボランティア研修会

- 12月14日 世代交流しめ飾り教室
- 3月3日 三役・ボランティア正副代表者会議（次年度事業計画等について）
- 3月21日 会計決算監査について
- 3月 会報「ひまわり」発行（地区内各戸配布）

○ひまわりサロン活動状況

高齢者を対象に、毎月各区コミセンで開催し、談笑・歌・ゲーム・手芸等をして楽しい一日を過ごした。

地区	ボランティア登録者数
印野	14人
時之栖第1・2	27人
小木原	8人
計	49人

○お誕生えほんプレゼント 15人

○いんの親子おはなしの会（子育てサロン）

時之栖区コミセンを会場に毎月第1水曜日（1、4、5月は第2水曜日）の午前に親子が集い、おもちゃで遊んだり、リトミックや絵本などの読み聞かせを行った。

4月10日	時之栖コミセン	10月2日	時之栖コミセン
5月8日	時之栖コミセン	11月6日	時之栖コミセン
6月5日	時之栖コミセン	12月4日	時之栖コミセン
7月3日	時之栖コミセン	1月8日	印野こども園
8月7日	時之栖コミセン	2月5日	時之栖コミセン
9月4日	印野こども園	3月5日	時之栖コミセン

(4) 玉穂地域福祉推進委員会

当地域は、各区を始め、諸団体と連携し、児童、高齢者等が地域の一員として安心して生活できる玉穂地域を作っていくための活動を行い、地域福祉の充実を図った。

■推進委員会本会の活動

[事業活動]

5月9日	玉穂地域福祉推進委員会総会
6月6日	第2層協議体会議・第1回役員会
6月28日	玉穂地域福祉推進委員会だより「たまほ」編集会議
7月22日	玉穂地域福祉推進委員会だより「たまほ」第40号発行
10月8日	第2回役員会・玉穂地域福祉推進委員会視察研修

11月9日	「夢フェスタたまほ」展示部門参加
11月10日	「夢フェスタたまほ」展示部門参加
2月7日	第3回役員会
3月25日	令和6年度会計決算監査

■子育てサロン部

子育て中の親子が集い、互いに交流し情報交換をすることで支え合う地域交流を目的に開催。

開催日 毎月第3木曜日（4月、3月除く）

会場 玉穂報徳会館和室・屋外広場

内容 以下のとおり

月日	事業名	内容等
5月16日	子育てサロン	親子でお絵かき
6月20日	子育てサロン	幼稚園児と遊ぼう！七夕かざり作り
7月18日	子育てサロン	リトミック・シャボン玉もね
8月15日	子育てサロン	エプロンシアター
9月19日	子育てサロン	手形・足形をとろう！文化祭参加作品
10月17日	子育てサロン	リズム遊び、読み聞かせ
11月21日	子育てサロン	赤ちゃん体操・シャボン玉遊び
12月21日	子育てサロン	もうすぐクリスマス
1月16日	子育てサロン	ふくっぴー音楽隊と遊ぼう！
2月20日	子育てサロン	玉穂第2保育園児と遊ぼう！

■各支部事業

[茱萸沢下支部お茶のみサロン]

開催日 概ね毎月11日

会場 茱萸沢下区公民館

内容 以下のとおり

月日	事業名	内容等
4月12日	春のお楽しみ会	沼津奇術研究会 マジックショー
5月11日	楽しい健康手芸	木目込みパッチワーク作成
6月11日	もみじの会	大正琴の演奏鑑賞
7月2日	玉穂第1保育園と交流会	園児と七夕飾り作成
8月11日	ローカルサウンドクラブ	ビッグバンドと歌姫の音楽鑑賞

9月11日	植物を育てよう会	多肉植物の寄せ植え作成
10月11日	下区福祉推進委員会	文化祭展示物作成（サロン活動状況）
11月9日 ・10日	夢フェスタ玉穂	支部状況紹介 下支部文化祭作品展示
12月11日	リース飾りを作ろう会	クリスマスツリー飾り作成
1月10日	健康体操	地域包括支援センター菜の花
2月10日	いきいき健康講座	御殿場市長寿福祉課
3月11日	下区福祉推進委員会	新旧役員引継ぎ

その他 子育てサロン支援…6月、9月、12月

茱萸沢下区文化祭、夢フェスタ玉穂への活動展示等

[茱萸沢上支部お茶のみサロン]

開催日 概ね毎月第2水曜日

会 場 茱萸沢上区コミセン

内 容 以下のとおり

月日	事業名	内容等
4月10日	夢フェスタ作品作り	新年度事業計画・作品作り
5月8日	出前講座	デジタル出前講座（マイナポータル）
6月12日	お楽しみ会	劇団にんじん（光る君へ）、色紙飾り
7月10日	文化祭作品作り	色紙飾り
8月14日	お楽しみ会	日本舞踊 永井先生
10月9日	お楽しみ会	保土沢っち、おかめひょっとこ
11月13日	健康体操	健康体操※菜の花
12月11日	クリスマス会	オカリナ演奏等
1月8日	新年会	大正琴
2月12日	見守り活動	チョコの配布
3月12日	お楽しみ会	朗読会、次年度事業計画、役員引継ぎ

その他 子育てサロン支援…6月、9月、12月

夢フェスタ玉穂への活動展示等

[中畑東支部お楽しみサロン]

開催日 不定期で年間6回程度

会 場 中畑東区公民館ほか

内 容 以下のとおり

月日	事業名	内容等
----	-----	-----

4月10日	お楽しみサロン	花見、輪投げ大会
6月28日	お楽しみサロン	夢フェスタ玉穂出展作品作り
7月30日	お楽しみサロン	グラウンドゴルフ、パークゴルフ
8月22日	お楽しみサロン	夢フェスタ玉穂出展作品作り
11月21日	お楽しみサロン	紅葉狩りバスツアー 見延山方面
12月7日	お楽しみサロン	健全育成 ツリー、しめ縄飾り
12月12日	お楽しみサロン	ペタボード大会
1月23日	お楽しみサロン	新年役員顔合わせ
2月20日	お楽しみサロン	ポールヒットゲーム大会
3月13日	福祉推進委員会総会	総会

その他 子育てサロン支援…7月、10月、1月

健全育成手伝い、夢フェスタ玉穂への活動展示等

[中畑北支部ふれあいサロン]

開催日 隔月で年間6回程度（土曜又は日曜日）

会場 中畑北区コミセン

内容 以下のとおり

月日	事業名	内容等
4月27日	北区各種団体代表者会議	
6月19日	ボランティア活動支援	西中生徒ボランティア活動支援
6月27日	ふれあいサロン	パークゴルフ
7月13日	北区夏祭り支援	
7月27日 ～31日	見守り支援	飲料配布
10月6日 ・20日	北区公民館祭り参加支援	文化祭出展作品作り（シール貼り絵） と展示
11月27日	ふれあいサロン	パークゴルフ大会
12月12日	見守り支援	シクラメンの花鉢配布

その他 中畑北区買い物支援サービス…月に2回

子育てサロン支援…7月、10月、1月

夢フェスタ玉穂への活動展示等

[中畑南支部ほがらかサロン]

開催日 毎月第2水曜日

会場 中畑南区公民館

内 容 以下のとおり

月日	事業名	内容等
4月10日	見守り活動	お弁当、飲み物の配布
5月8日	健康講座	運動でリフレッシュ
6月12日	文化祭作品作り	作品作り
9月10日 ・11日	富士山麓病院訪問	認知症についての勉強会
10月9日	作品作り	多肉植物の寄せ植え
11月13日	鑑賞会	マジックショーやゲーム等
12月11日	お楽しみ会	クリスマス会 ビンゴゲーム
3月12日	見守り活動	お弁当、飲み物配布

その他 子育てサロン支援…5月、8月、11月、2月

中畑南区文化祭、夢フェスタ玉穂への活動展示等

[中畑西支部ゆうゆうサロン]

開催日 毎月第2水曜日

会 場 中畑西区コミセン

内 容 以下のとおり

月日	事業名	内容等
4月3日	役員顔合わせ	
4月10日	お花見会	さくら公園にてお花見
5月8日	鑑賞会	マジックショー
6月12日	防犯講座	滝ヶ原駐在さんによる防犯講座
7月10日	作品作り	夏祭り・盆踊り大会の花作り
8月14日	鑑賞会	ビデオ鑑賞
9月11日	作品作り	端切れを使ったブローチ作り
10月9日	音楽鑑賞会	オカリナ演奏会
11月7日	バス観光	河口湖紅葉まつり
12月11日	ゲーム大会	ビンゴゲーム大会
1月15日	紙芝居	大型絵本読み聞かせ
2月12日	健康講座	地域包括支援センター菜の花
3月12日	見守り活動	お弁当配布

その他 子育てサロン支援…5月、8月、11月、2月

中畑西区文化祭、夢フェスタ玉穂への活動展示等

[川柳支部ふれあいサロン]

開催日 不定期で年間6回程度（土曜日）

会 場 川柳区公民館

内 容 以下のとおり

月日	事業名	内容等
5月11日	見守り活動	誕生月のプレゼント
6月8日	美化作業	鉢植えの配布
7月13日	見守り活動	誕生月のプレゼント
8月10日	見守り活動	誕生月のプレゼント
9月14日	見守り活動	誕生月のプレゼント
10月12日	見守り活動	誕生月のプレゼント
11月5日	保健指導	健康は口から、元気は食から。
12月23日	見守り活動	クリスマスプレゼント
1月	見守り活動	誕生月のプレゼント
2月	見守り活動	バレンタインプレゼント
3月	見守り活動	誕生月のプレゼント

その他 子育てサロン支援…5月、8月、11月、2月

夢フェスタ玉穂への活動展示

(5) 高根地域福祉推進委員会

平成9年度から『一人の不幸も見逃さない』ための小地域ネットワーク活動を推進するため、高根地域福祉推進委員会の部会として山之尻区、塚原区をモデル指定し、小地域福祉活動事業を開始した。

■推進委員会全体の活動

○総会（5月22日）

令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算

○役員会の開催（9回）

各事業についての検討、広報『たかね』内容検討、部会間の情報交換等

○視察研修実施（2月13日）

熱海市社会福祉協議会「住民参加型福祉サービスこつこつ」

講師 熱海市社会福祉協議会 原 盛輝氏

○広報啓発活動

広報『たかね』第49・50号発行、高根どんたくにて地域福祉活動展示

○独居高齢者物品支援

独居高齢者に対する保存食等の配布

○高根買い物支援試行運転（6月、7月、8月、9月 3月第2火曜日実施）

○高根買い物支援本運転

（10月、11月、12月、1月、2月、3月3月 第2火曜日実施）

○高根子育て広場の開催（毎月第4水曜日11回開催）

○高根すこやか倶楽部運営支援

○防犯まちづくりの会への参加（7月23日）

防犯パトロールの実施

■各部会活動

[山之尻区ふれあい部会]

○子育てサロンリンゴちゃん（4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月）

○いきいきサロンお楽しみ会（6月、10月、3月）

○夏休みラジオ体操 地域住民の参加促進事業（7月～8月）

○区民祭（11月2日）

[塚原さわやか部会]

○子育てサロン（4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、2月、3月）

○ふれあいいきいきサロン（6月、7月、9月、11月、2月、3月）

○多世代交流会（8月、12月）

[上小林菜の花会]

○菜の花会（5月、9月、10月、11月）※挨拶状・菓子配布等見守り安否確認を含む。

○もみじのて（4月、10月、12月、3月）

○上小林区民祭（11月10日）

[柴怒田・水土野福祉推進部会]

○子育てサロンカンガルーの会（6月、7月、10月、12月、1月、2月）手作りおもちゃ、プレゼント配布を含む。

○いきいきサロンこぶしの会（6月、8月、9月、2月）

[美乃和区福祉推進委員会]

○子育てサロン（7月、10月）

○いきいきサロン（8月、12月）

○区民祭（11月3日）

[古沢区地域福祉推進委員会]

○子育てサロン（4月、6月、7月、9月、10月、11月、2月、3月）

○元気サロン（6月、9月、12月、3月）

[清後区地域福祉推進委員会]

○ハッピーワールド（毎月第2土曜日）クリスマスプレゼント配布等を含む。

○きよさとの会（6月、10月、11月、2月、3月）飲み物配布等を含む。

○清後区文化祭（11月10日）

[六日市場区福祉部会]

○ポコポコひろば（6月、8月、10月、12月）プレゼント配布等を含む。

○いきいきサロン（4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月）

○区民祭（11月3日）

(6) 原里地域福祉推進委員会

定例の正副支部長会において、情報交換や支部事業の検討を行い、各支部の活動の充実、活動の活性化を図った。

また、災害時に備えて地域防災活動に積極的に協力した。更に、住民一人ひとりが地域福祉の必要性を認識して自ら進んで地域の相互扶助活動に参加するための啓発活動を進め、住民参加のネットワークの構築を推進することによる「住民による福祉のまちづくり活動」を展開した。

■推進委員会全体の活動

○第1回支部長会議（4月22日）

新年度の活動指針等の検討

○総会（5月13日）

事業報告・決算、事業計画・予算

○第2層生活支援・介護予防協議体開催（6月17日）

「認知症についてともに考える」

○第2回支部長会議（6月17日）

広報紙「さぎなみ」の編集について、各支部の報告

○地域福祉講演会（7月6日）

「住人参加でつくる 暮らしの足」

講師 NPO 法人全国移動サービスネットワーク副理事長 河崎民子氏

- 地域版国土交通認定運転ボランティア養成講座（9月20日）
- 第3回支部長会議（11月11日）
 広報紙「さざなみ」の編集について、各支部の報告
- 地域版運転ボランティアアフターフォロー研修会（12月2日）
- 第4回支部長会議（3月17日）
 令和7年度行事予定について、広報紙さざなみの発行について、各支部の報告
- 子育てサロン見学 ※12月15日（日）北畑支部／令和7年1月15日（水）森之腰支部

■各支部活動

[川島田支部]

- 子育てサロン（開催11回）シャボン玉遊び、パオパオバルーン、新聞紙プール遊びほか
- いきいきサロン（開催5回）東山旧岸邸散策、健康の話、押し花づくりほか
- グループホームかわしまた運営推進会議

[森之腰支部]

- 子育てサロン（開催10回）手形アート、運動・音楽遊び、パネルシアターほか
- いきいきサロン（開催5回）寄せ植え、手芸、健康についての話ほか
- 区民文化祭展示物作成

[杉名沢支部]

- なかよしサロン（実施3回）さつま芋の苗挿しや収穫、七夕飾り、さいと焼団子作りほか*いきいきサロンと合同開催
- いきいきサロン（開催1回）健康体操、ゲームほか

[神場支部]

- いきいきサロン（開催5回）七夕飾り作り、手芸、カラーリングほか

[板妻支部]

- 子育てサロン（開催2回）七夕コンサート、クリスマスリース作りほか
 *いきいきサロンと合同開催
- いきいきサロン（開催5回）カラーリング、骨密度測定、じゃんけんアメとりゲーム、巳の置物づくりほか
- 敬老会の手伝い

[保土沢支部]

- 子育てサロン（開催1回）クリスマス会ほか*いきいきサロンと合同開催
- いきいきサロン（開催8回）健康体操、昔話、おかめひょっとこ、3776体操、マ

ジックショーほか

○保土沢区いきいきサロン移動支援の付添

[永塚支部]

○いきいきサロン（開催8回）お花見市内バス巡り、劇団にんじん、オカリナの会、旅カラオケほか

○敬老会の手伝い

[北畑支部]

○子育てサロン（開催8回）七夕祭り、区、シニア、中学生ボランティア等の協力によるクリスマス会、喫茶「さくらんぼ」、風船遊びほか

○敬老会プレゼント作成

○文化祭

[大沢支部]

○子育てサロン（開催2回）ボランティアさんと語るホットタイムほか

*いきいきサロンと合同開催

○いきいきサロン（開催3回）健康指導、ふくっぴ〜音楽隊ほか

○高齢者宅友愛訪問

(7) 富士岡地域福祉推進委員会

15か所の各支部では、いきいきサロン、子育てサロン、世代交流事業等が展開されている。令和6年度は、コロナ禍が明け、サロン等事業再開をする支部が増加した。

■推進委員会全体の活動

○総会

令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算について（5月23日）

○支部長会の開催（4月22日、6月10日、1月20日、3月10日）

支部代表者による情報交換、委員会全体事業の調整・協議、予算審議等

○第2層生活支援・介護予防協議体開催（7月19日）

「認知症についてともに考える」

○地域福祉研修会の開催（9月18日）

○広報啓発活動

広報紙「富士岡の地域福祉」の発行（8月、2月）

○富士岡地区高齢者みまもりネットワーク運営委員会への参加

平成19年2月に発足した「富士岡地区高齢者みまもりネットワーク運営委員会」に構成団体として継続して参加。会議に委員長が出席（7月、2月）

■各支部の活動

[竈支部]

- いきいきサロン（4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月開催）
- ボードゲームサロンの実施（5月）
- 防災訓練協力（12月）

[萩蕪支部]

- 支部会議（4月、3月）
- 子育て支援事業（8月）
- 高齢者支援事業、友愛訪問（12月）

[沼田支部]

- 少年消防クラブ（4月、5月、7月、8月、10月、11月、12月、3月）
- 沼田女性会及び諸久保女性部（4月、8月、9月、10月、11月、1月、2月）
- 子供会（5月、8月、10月、11月、1月、3月）
- いきいきクラブ（5月、10月、1月）

[二子支部]

- 役員会（4月、5月、7月、8月、9月、10月、11月、3月）
- いきいきサロン（12月）
- 子育てサロン（8月、12月）
- 公民館祭り（10月）

[中山上支部]

- 支部会議（4月、8月、11月）
- いきいきサロン（6月、10月、12月）
- 子育てサロン（12月）

[中山下支部]

- 元気になろう会（4月～3月）
- 子育てサロン（4月～3月）
- 居場所 ふらり中山（4月～3月）

[風穴支部]

- 区民さつまいも作り体験会（5月）
- 区民ふれ合いグランドゴルフ大会（7月）
- 区民ふれあい夕涼み会（8月）

○元気になろう会（4月～3月）

[中清水支部]

○いきいきサロン（4月、6月、8月、11月、12月、1月、3月）

○子育てサロン（7月、10月、12月、3月）

○元気になろう会（4月～3月）

[駒門支部]

○支部会議（4月、3月）

○いきいきサロン（7月）

○子育てサロン（12月）

○高齢者慰問（3月）

[大坂支部]

○支部会議（8月）

○特別支援学校との交流（6月）

○世代交流サロン（5月、7月、9月、11月、2月、3月）

○子育てサロンほのぼの（4月～3月）

○ふれあい給食（高齢独居者対象 12月）

[町屋支部]

○支部会議（5月、6月、3月）

○ピンポン広場（4月～3月）

○シニア広場（4月～3月）

○キッズ広場（6月、9月、1月）

○高齢者訪問（12月）

○カレーハウス（11月、2月）

[高内支部]

○運営委員会（4月、7月、8月、9月）

○健康診断（5月）

○スマイルコンサート（10月）

○コミセン祭り（11月）

○研修会（3月）

[尾尻支部]

○支部会議（5月、7月、8月、9月、12月、1月、2月）

○茶話会（6月、7月、9月、2月）

○元気になろう会（11月、12月、1月、2月、3月）

○コミセン祭り（11月）

[神山支部]

○支部会議（4月、3月）

○ふれあいサロン（5月、10月、12月、1月、2月）

○神山区ふるさと祭り（10月）

○子育てサロンクリスマス（12月）

[富士見原支部]

○富士見原カフェ（4月～3月）

○子育てサロン（7月）

○いきいきサロン（4月、6月、9月、3月）

○特別支援学校交流（6月、10月）

○福祉だよりの発行（12回発行）

○元気になろう会（24回）

○ふれあいクラブ定例会（12回）

(8) 御殿場地域福祉推進委員会

平成30年1月15日、御殿場地区の地域福祉推進のため「御殿場地域福祉推進委員会」が設置された。御殿場地区では、小地域福祉活動として「ふれあいいきいきサロン」を中心に実施している。

■推進委員会全体の活動

○総会（7月22日）

事業報告・決算、事業計画・予算

第2層生活支援・介護予防協議体座談会「認知症についてともに考える」

○第2層生活支援・介護予防協議体視察研修（3月12日）

視察先 県地震防災センター

内 容 地震や津波、火山災害についての研修・講話

*以下子育てサロン、ふれあいいきいきサロンの実施状況を掲載

■子育てサロン活動

[御殿場地区民生委員児童委員協議会・御殿場地区主任児童委員連絡会]

○子育てサロン「ミルキーランド」 ※平成15年6月～

実施日 毎月1回 第3火曜日午前

会 場 二の岡地区コミュニティ供用施設

対 象 御殿場地区 15 区在住の未就園児とその親

[御殿場区福祉委員]

○子育てサロン「ごてんばのなかよし」 ※平成 20 年 5 月～

実施日 毎月 1 回 第 2 火曜日午前

会 場 御殿場地区コミュニティ供用施設

[北久原児童公園集会所運営委員会] (御殿場地区主任児童委員協力)

○子育てサロン「HOUTOKU サロン」 ※平成 29 年 9 月～

実施日 毎月 1 回 第 1 木曜日午前

会 場 北久原児童公園集会所

対 象 報徳地区在住の未就園児とその親

■高齢者サロン活動

[御殿場区福祉委員会]

○ふれあいいきいきサロン「ごてんばのなかま」 ※平成 15 年 3 月～

実施日 毎月 1 回 第 2 火曜日午後

会 場 御殿場地区コミュニティ供用施設

[深沢区福祉委員会]

○ふれあいいきいきサロン「ふかさわやすらぎの会」 ※平成 15 年 1 月～

実施日 毎月 1 回 第 3 金曜日午後

会 場 深沢区公民館

[東山区福祉推進委員会] *休会中

○ふれあいいきいきサロン「サロンひがしやま」 ※平成 15 年 5 月～

会 場 東山児童館

[東田中区沓間地区ボランティア]

○ふれあいいきいきサロン「沓間元気会」 ※平成 13 年 5 月～

実施日 毎月 1 回 概ね日曜日午前

会 場 沓間公民館

[東田中二部福祉委員・民生児童委員]

○ふれあいいきいきサロン「横通りほのぼの会」 ※平成 17 年 4 月～

実施日 毎月 1 回 第 2 土曜日午前

会 場 東田中区中央公民館

[東田中第三部ボランティア]

○ふれあいいきいきサロン「塚本いろは会」 ※平成 17 年 4 月～

実施日 毎月1回 第4日曜日午前

会場 塚本公民館

[二の岡区ボランティア]

○居場所なごみ

※平成13年6月にふれあいいきいきサロン「二の岡ふれあいサロンなごみの会」として発足した。令和5年度中に居場所「ごえん」と合併し、居場所「なごみの会・ごえん」として活動。令和6年度から居場所「なごみ」に名称変更。

実施日 毎月2回 第1・第3金曜日午後

会場 二の岡地区コミュニティ供用施設

[鮎沢区福祉委員]

○ふれあいいきいきサロン「鮎沢いきいきサロン」 ※平成15年3月～

実施日 年11回 第3水曜日午後

会場 鮎沢公民館

[新橋区民生委員・介護予防サポーター] ※平成25年8月活動再開

○ふれあいいきいきサロン「新橋富士山おたっしや会」 平成25年8月～

実施日 毎月1回 第2火曜日午後

会場 新橋地区コミュニティ供用施設

[湯沢区福祉委員]

○ふれあいいきいきサロン「湯沢会」 ※平成16年4月～

実施日 年3回 不定期

会場 湯沢区公民館

[萩原区福祉委員会きらく会]

○ふれあいいきいきサロン「萩原きらく会」 ※平成15年2月～

実施日 年10回 第3日曜日午前

会場 萩原公民館

[二枚橋区福祉委員会]

○ふれあいいきいきサロン「二枚橋つるかめクラブ」 ※平成14年12月～

実施日 毎月1回 第3月曜日午前

会場 二枚橋地区コミュニティ供用施設

[西田中区地域福祉委員]

○ふれあいいきいきサロン「西田中区いきいきサロン」 ※平成15年4月～

実施日 毎月1回 第1金曜日午前

会場 西田中地区コミュニティ供用施設

[北久原区福祉委員会]

- ふれあいいきいきサロン「いきいきサロン北久原」 ※平成15年1月～
実施日 毎月1回 第4火曜日午後
会場 北久原公民館

[仁杉区福祉委員会]

- ふれあいいきいきサロン「仁杉ふれあい杉の子会」 ※平成15年1月～
実施日 毎月1回 第3土曜日午前
会場 仁杉公民館

[栢ノ木区福祉委員会] *休会中

- ふれあいいきいきサロン「ひだまりの会」 ※平成15年6月～
実施日 毎月1回 第1木曜日午後
会場 栢ノ木区公民館

[永原区福祉委員]

- 世代間交流の場「ながはらサロン」 ※令和5年7月～
実施日 月・水・金・土・日 午前、毎日午後開放
会場 永原地区コミュニティ供用施設隣
平成23年4月から萩原きらく会から分離独立し、ふれあいいきいきサロン「永原区いきいきサロン」が発足した。平成27年「永原きらく会」から「永原区いきいきサロン」へ名称変更し活動していたが、令和3年度から休会していた。

(9) 地区社協育成費の助成

- 各地域福祉推進委員会の運営費を助成するため「地区社協育成費助成金」を交付した。
・地区社協育成費助成金 6件 2,800,000円

(10) 生活支援等サービス開発

地域で実施されている移動支援や居場所等の地域資源開発等に係る費用の助成を行った。

移動支援

継続 30,000円 10件 ※その他車両保険料を負担

居場所

新規 100,000円 1件

(11) 地域福祉活動団体事業の助成

- ・御殿場市民生委員児童委員協議会 880,000円

- ・富士岡地区民生委員児童委員協議会 145,000 円
- ・御殿場市婦人会連絡協議会 100,000 円
- ・北駿地区保護司会 70,000 円
- ・御殿場市遺族会 190,000 円

(12) 共同募金運動推進団体事業の助成

各地区民生委員児童委員協議会が共同募金運動を通じて地域福祉の推進を目的として実施する事業の事業費助成を行った。

- ・共同募金運動推進助成金 6件 171,119 円

21 ボランティア活動

地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深め、その活動を助成し、組織化と地域福祉の推進を図った。

(1) ボランティア入門講座等の開催

①ミニ手話教室

手話の学習を通じ、聴覚・言語機能障害者に対する理解を深めるとともに、手話の技術向上及びその手法の普及並びにボランティア活動の活性化を図ることを目的として開催した。

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」第1・2会議室

受講者 8人（令和5年度5人）

講師 手話サークルわらじ友の会

月日	内容
11/6	開講式／オリエンテーション／コミュニケーションの方法／指文字／挨拶の手話
11/13	指文字／数の手話／家族の手話
11/20	指文字／自己紹介（Ⅰ）（Ⅱ）
11/27	自己紹介（復習）／交流／閉講式

②朗読ボランティア養成講習会

視覚障害者への理解を深めるとともに朗読ボランティアの活性化を図ることを目的として中級講習を開催した。

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」第3・4会議室

講師 NHK 財団放送研修センター アナウンサー 山下俊文氏

参加者 御殿場市朗読奉仕グループ「くろつぐみの会」会員 14 人

月日	内容
8/28	中級の朗読講習

③要約筆記ボランティア養成（補助）講座「きこえ（聴覚障害者）の相談室」

中途失聴者と難聴者の状況を知り、聴覚障害者の社会参加と自立を支援するため、失った聴力を補う方法や不自由な日常生活の改善を考える機会とすることを目的として「きこえの相談室」を開催した。

日時 令和 6 年 7 月 13 日（土）午前 10 時から正午まで

令和 6 年 11 月 3 日（日）午前 10 時から正午まで

令和 7 年 2 月 8 日（土）午前 10 時から正午まで

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」ボランティアビューロー・点訳室

- 内容
- ①福祉制度（手当・年金の支給）
 - ②身体障害者手帳の申請方法
 - ③補聴器の購入（御殿場市の給付制度）
 - ④災害時の聴覚障害者の支援方法
 - ⑤筆談（要約筆記）制度の利用方法

来談者 補聴器を使っているが聞き取りにくい方
音は聞こえるが言葉を聞き取れない方
会話に参加できない方
家族や仲間とのコミュニケーションが取りにくくなった方
後ろから声を掛けられても気付かない方
聴覚障害者支援に関心のある方 8 人（令和 5 年度 6 人）

相談員 要約筆記サークルさくらんぼ、補聴器専門店

④小学生福祉体験

次世代を担う小学生が、社会福祉協議会の事業に参加し、地域の高齢者と交流することで、「福祉」を身近なものとして感じることを目的として実施した。

日時 令和 6 年 8 月 8 日（木）午前 9 時 30 分から午後 3 時まで

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ホール・調理室

内容 調理ボランティアと共に 170 人分のカレー作り、ひとり暮らし高齢者との交流（ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会事業への参加）

参加者 御殿場市内の小学校の児童4・5・6年生22人（令和5年度21人）

⑤親子福祉体験

親子で手話体験を通じ、聴覚障害について理解するきっかけとし、楽しみながら福祉についての気づきを促す機会とすることを目的として開催をした。

日時 令和7年3月8日（土）午前10時から正午まで

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」第3・4会議室

内容

- ・「きこえない」って何？
- ・簡単な手話を覚えましょう!!
- ・ジェスチャーゲーム等

参加者 17人/8組（令和5年度35人/11組）

⑥中高生福祉体験 ※子ども食堂ささえあい見守り啓発

夏休み期間を利用し、何かボランティア活動をしたいと考えている中高生を対象に、子ども食堂について学ぶための実際の活動体験や、御殿場・小山フードバンク協議会事業へ参加することで、地域の助け合い活動について理解を深めることを目的に開催した。

日時 令和6年7月30日（火）・31日（水）午前9時から午後3時30分まで

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ロビー・調理室

内容

- ・子ども食堂の活動体験
- ・フードドライブに寄せられた食品などの仕分け・梱包作業

参加者 49人（令和5年度41人）

⑦ふれあい会食サービス事業研修

本会の実施する高齢者ふれあい会食サービス事業のより効果的な運営及びボランティアスタッフの資質向上を図ることを目的として実施した。

日時 令和7年3月7日（金）午前9時から午後1時まで

会場 午前 御殿場市民交流センター「ふじざくら」ボランティアビューロー
午後 ギャラリー&喫茶「うつわ」（御殿場市杉名沢162-1）

内容 市健康推進課による体組成測定と健康講座
ギャラリー&喫茶「うつわ」店主による講話及び会食

参加者 調理ボランティア「わらび会」会員、レク等スタッフ 計17人

⑧ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座

※災害時支援ボランティア研修会

災害時において、地域のニーズを引き出し、多くのボランティアを受け入れる災害ボランティア本部の運営や、災害に備えた地域の防災力を付けていくためにコーディネーターの重要性が増している。本講座は、地域や被災地の中で核となって動くことができる「災害ボランティアコーディネーター」の養成を図るため開催した。

日時 令和7年3月6日（木）午前10時から午後4時まで

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ホール

内容 御殿場市の被害状況や避難所運営ゲーム（HUG）を体験し、災害ボランティアコーディネーターとしての役割や心構えを学ぶ。

※修了者には静岡県知事認証を授与

参加者 13人（令和5年度18人）

(2) ボランティア保険

地域住民がボランティア活動に安心して取り組めるよう、活動中の事故に備えるボランティア保険の取扱いをした。また、市内在住のボランティア活動保険加入1,274人（内地域351人）に加入料149,100円（市内在住者100円／1人、地域福祉推進委員等200円／1人）を助成した。（前年度1,081人）

区分	令和6年度		令和5年度	
ボランティア活動保険加入数	108件	1,274人	106件	1,229人
行事用保険加入延べ数	61件	9,020人	68件	9,333人

(3) ボランティア情報のPR

広報誌「社協だより」、ホームページ等により、地域住民に対してボランティア情報のPRを行った。

(4) ボランティア相談窓口の開設

ボランティア相談窓口を開設し、ボランティアの需給調整及び啓発を行った。

ボランティア需給調整、相談等（一般13件＋運転ボランティア845件）計858件

ボランティア登録人数

令和6年度	団体	57団体 7,500人	個人	28人＋運転V54人	合計7,582人
令和5年度	団体	57団体 8,500人	個人	27人＋運転V51人	合計8,578人

(5) ボランティア活動の助成

ボランティア活動を目的とした事業を行う団体の活動費を助成した。

- ・ 御殿場市ボランティア連絡協議会 1件 368,000円

(6) ボランティアビューロー利用状況

平成8年4月からボランティア向けの会議室として、毎月第1月曜日、年末年始の休業日を除く毎日、午前9時から午後9時30分まで開放している。

※平成20年10月に市民交流センターへ機能移転

○開放日数 347日

○利用日数 240日（利用率69%）

○利用者数 3,414人

○利用内訳

区分	令和6年度実績		令和5年度実績	
	ボランティア	延べ162件 (474.5時間)	延べ164件 (443.5時間)	
当事者団体	延べ50件 (153.5時間)	延べ58件 (192.0時間)		
社協事業関係	延べ87件 (350.0時間)	延べ60件 (238.0時間)		
市行政関係	延べ20件 (51.0時間)	延べ20件 (53.0時間)		
合計	延べ319件 (1029時)	延べ302件 (926.5時間)		
1日平均	0.9件 (3時間)	0.9件 (2.7時間)		

22 災害時の支援活動

(1) 災害ボランティア本部立ち上げ訓練

災害時において社会福祉協議会、行政及び災害ボランティアの協働により運営される「災害ボランティア本部」が有機的に機能し、効率的に運営されることが求められている。

実際の災害時に加え、感染症の拡大防止に十分に配慮する必要があり、感染症対策を講じて、「災害ボランティア本部」の設営と運営シミュレーションを行うことにより、それぞれの役割と連携の確認及び課題の整理を行った。

また、県下災害ボランティアセンターで活用が始まっているICT（情報通信技術）を取り入れ、より実践的な訓練を実施した。

さらに、福祉避難所との連携を図る機会とした。

日時 令和7年1月17日（金）午後2時30分から4時まで

場所 御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ロビーほか

参加者 約 100 人

参加機関 御殿場市ボランティア連絡協議会
ごてんば福祉施設協働事業協力法人
静岡銀行
御殿場市役所（危機管理課・市民協働課）
御殿場市消防団女性部
自主防災会
災害ボランティアコーディネーター御殿場
市民
御殿場市社会福祉協議会

訓練内容 【災害ボランティア本部の立ち上げ】

①災害ボランティア本部を御殿場市民交流センター1階ロビーに設置

【ボランティア受入れ訓練】

住民からのニーズを受付け、「ニーズ票」「活動紹介票」を作成（ICTの活用）

②市内外からのボランティアの受入れ（ICTの活用）

③受付けしたボランティアを調整し、ニーズとのマッチング及びグルーピング

④必要な資機材の貸出し及び資機材の管理、返却

⑤災害 VC 活動展示

⑥活動終了後の帰着報告を受け、活動報告書を作成

⑦ボランティア活動証明書の発行（ICTの活用）

(2) 令和6年1月能登半島地震発生に係る職員派遣

【支援内容】

能登町災害ボランティアセンター運営支援

派遣者氏名 地域福祉課地域福祉スタッフ 主事 長山太亮

派遣期間 令和6年6月4日（火）から6月10日（月）まで

派遣先 能登町災害ボランティアセンター及び能登サテライト

支援内容 ・1日当たり災害ボランティア約20人を被災地域へ派遣
・被災者宅の現地調査

(3) 被災者支援コーディネーター養成研修 ※静岡県主催事業

被災者の多様な要望に対し、様々な機関が関与し、被災者に寄り添った支援を行う必要があることから、地域や分野により支援の漏れや偏りがないようコーディネーションできる能力を有する人材の育成に取り組むことを目的に実施された。

本田光子氏（中山在住）を静岡県に推薦し、研修会への随行等を行った。

- ・第1回目 令和6年7月16日（火）
内容 研修のオリエンテーション（研修の目的・進め方・自己紹介） ※WEB
- ・第2回目 令和6年8月8日（木）
内容 被災者コーディネーション基礎スキル（熱海の事例から学ぶ） ※WEB
- ・第3回目 令和6年8月20日（火）
内容 事例を通してニーズのを見つけ方を学ぶ ※WEB
- ・第4回目 令和6年9月10日（火）
内容 多様な機関の特徴とつなぐポイント ※WEB
- ・第5回目 令和6年10月4日（金）
内容 熱海での実施に向けて主催者と企画会議を行う ※WEB
- ・第6回目 令和6年11月6日（水）
内容 受講生と協働してのプログラム ※WEB
- ・第7回目 令和6年12月3日（火）
内容 実践！調整会議（実践に向けて、主催者との会議） ※WEB
- ・第8回目 令和6年1月23日（木）
内容 被災者支援事業の運営 ※熱海市
- ・第9・10回目 令和7年2月14日（金）
内容 研修全体の振り返り、今後に向けて ※静岡市

23 福祉団体との連携

市内の障害者施設、高齢者施設、当事者団体、ボランティア団体等の行事に対して協力、参加するとともに、社会福祉協議会の主催する事業に参加を依頼するなど、相互の連携を図りながら事業を推進し、必要に応じて支援を行った。

また、サマーショートボランティアの活動においては、各施設と連携を密にして事業を実施した。

(1) ごてんば福祉施設協働事業「絆（わ）」の実施 ※社会福祉法人連携

市内23か所の社会福祉法人等が、多種多様な組織や人材をいかし、地域課題の解決を図ることを目的として実施した。

また、今年度は御殿場・小山障害児者自立支援協議会主催の障害者週間基調講演に研修の一環として参加した。

【研修会】

日時 令和6年12月6日（金）午後1時30時から3時30分まで

会場 御殿場市民会館小ホール

内容 「能登地震の教訓をどう生かすか」

シンポジスト：社会福祉法人婦人の園「インマヌエル」 高橋頼太氏、御殿場市健康推進課 菅沼和泉氏、社会福祉法人寿康会「徳風園」 柴田和之氏

コーディネーター：御殿場市社会福祉協議会 湯山紀美子

参加者 市内社会福祉法人等10施設（26人）

【災害ボランティア本部立上げ訓練への協力】

日時 令和7年1月17日（金）

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ロビー

内容 初回参加の方：ボランティア役

2回目以降の方：社会福祉協議会職員と共にニーズ班での対応

参加者 6施設（6人）

【寄附物品のマッチング】

地域住民から寄せられた善意の寄附を各施設へ届けるため、連絡調整、物品の運搬等を行った。

寄附物品：座布団17枚

【御殿場・小山フードバンク協議会 進級・進学応援プロジェクトへの協力】

日時 令和7年3月13日（木）午前9時から午後3時まで

会場 YMCA 東山荘

内容 フードバンクの仕分け作業等

協力 5人（野菊寮・さつき学園・ふじあざみ・御殿場十字の園）

(2) 花樽の販売協力

キリンディスティラリー株式会社富士御殿場蒸留所から樽を提供していただき、のぞみ作業所、ステップ・ワンで加工、販売している。社会福祉協議会ではPR等の協力を行った。（総販売数116個／キリンディスティラリーからの樽提供60本）

24 福祉教育の推進

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童、生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕の実践と社会連帯の精神を養い、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図った。

(1) 福祉教育実践校研修・連絡会

市内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、全 20 校の福祉教育担当教員の出席を得て、今後、効果的な福祉教育推進を図り、更なる福祉教育の実践に資することを目的として開催した。

日時 令和 6 年 8 月 1 日（木）午後 1 時 30 分から 4 時まで

会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」交流ホール

対象 市内小・中・高等学校・特別支援学校の教員

参加者 20 人（令和 5 年度 20 人）

内容 ①研修

講義「地域福祉教育の実践とウェルビーイングの視点」

講師 静岡福祉大学 学長 増田樹郎氏

②情報交換 各校における福祉教育の実践について

助言者 静岡福祉大学 学長 増田樹郎氏

③その他 夏休み期間中の各種体験事業の実施について、赤い羽根共同募金運動について、中高生向け地域福祉教育副読本 について

後援 御殿場市教育委員会

(2) 福祉教育実践校事業

福祉教育実践校事業は、平成 2 年度から指定が開始され、県指定が 3 年間、県フォローアップ指定が 2 年間（平成 16 年度に廃止）、その後市の継続指定としている。

平成 13 年度に市内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校が全校指定された。

以後、市社会福祉協議会単独指定として継続指定している。

■御殿場市福祉教育実践校継続事業

静岡県福祉教育実践校事業及びフォローアップ事業の指定を終了した後も福祉教育活動を継続することを目的とする。

活動補助 福祉教育実践活動に要する経費に各校年額 50,000 円を限度として助成

令和 6 年度指定校

小学校 10 校 中学校 6 校 高等学校 3 校 特別支援学校 1 校 計 20 校

活動内容 以下指定順

〈南中学校〉（平成7年4月1日～）

- サマーショートボランティアへの参加
- 高齢者疑似体験、車椅子体験
- 赤い羽根共同募金、書き損じはがき等の回収

〈高根小学校〉（平成7年4月1日～）

- 福祉講演会 聴覚障害に関する学習（4年生）
- 赤い羽根共同募金活動、書き損じはがきの回収
- 板妻もろこしの栽培を通じて、地域の農家との交流（分校）

〈御殿場小学校〉（平成9年4月1日～）

- 福祉講演会の開催 手話講座（2年生）
 - 「盲導犬の役割と訓練の様子」（3年生）
 - 「福祉の仕事に関わっている方の講話」（4年生）
- 赤い羽根共同募金、書き損じはがきの収集
- さくら学園との連携

〈西中学校〉（平成10年4月1日～）

- バッコ柳の植樹（2年生）、枝打ち体験（1年生）、全校地域奉仕作業（全校）
- 赤い羽根共同募金、緑の募金
- 認知症サポーター中学生養成講座（2年生）

〈東小学校〉（平成10年4月1日～）

- 福祉講演会（手話2年生、視覚障害者、盲導犬に関する学習2・3年生）
- アイマスク体験、点字体験（4・5・6年生）
- 赤い羽根共同募金

〈御殿場中学校〉（平成11年4月1日～）

- 歳末たすけあい募金に関する情報発信（福祉委員会による昼の校内放送）
- 歳末たすけあい募金、書き損じはがき回収、エコキャップ回収
- 福祉講演会 車いすバスケット体験（3年生）
- 福祉施設等での職業体験（2年生）

〈朝日小学校〉（平成12年4月1日～）

- 福祉講演会 車椅子バスケットについて（4年生）
- 赤い羽根共同募金活動
- 福祉講演会の様子を学年だよりに掲載し、保護者等へ福祉に関する啓発（4年生）

〈原里小学校〉（平成12年4月1日～）

- 福祉講演会 聴覚障害、手話、視覚障害について
- 特別支援学校との交流
- 赤い羽根共同募金活動

〈高根中学校〉（平成13年4月1日～）

- ハンセン病問題啓発映画「あん」の上映会
- エコキャップ、書き損じはがき回収
- レスキューベンチの購入及び体験
- 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金参加

〈御殿場南小学校〉（平成13年4月1日～）

- いのちの授業（4年生）
- 特別支援学校の居住地校交流
- 書き損じはがき回収

〈富士岡中学校〉（平成14年4月1日～）

- 講演会・映画（いのちの学習、薬学講座、がん・いのちの教育講演会等）
- 御殿場特別支援学校との交流（ポッチャ、ボウリング体験 1年生）
- 緑の羽根、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金

〈神山小学校〉（平成15年4月1日～）

- アイマスク体験（1年生）、高齢者疑似体験（2年生）、県立御殿場特別支援学校の先生による講話（3年生）、復生病院職員による講話（4年生）、国立駿河療養所の方の講話（6年生）
- 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金活動、書き損じはがき回収
- 県立御殿場特別支援学校との交流
（ビデオレター、手紙などの間接交流 3～5年生）

〈富士岡小学校〉（平成15年4月1日～）

- 水かけ菜摘み体験を通し、地域の農家、湧水保存会との交流（4年生）
- 福祉や人権、JRC関係の掲示物を通し広報・啓発
- 赤い羽根共同募金、能登半島地震募金、書き損じはがき集め

〈原里中学校〉（平成15年4月1日～）

- 社会福祉協議会や各施設主催のボランティア活動の募集活動
- 幼稚園や保育園での保育実習（2年生）
- 緑の募金、赤い羽根共同募金

〈玉穂小学校〉（平成16年4月1日～）

- 視覚障害体験

- ボッチャ体験
- 赤い羽根共同募金への参加、協力

〈印野小学校〉（平成 16 年 4 月 1 日～）

- 歳末たすけあい募金活動
- 総合的な学習の時間「福祉名人になろう」の一環でボッチャ体験、モルック体験
- 地域のお年寄りへの敬老の日の手紙作成

〈御殿場特別支援学校〉（平成 16 年 4 月 1 日～）

- 居住地区の小中学校、県立御殿場高等学校との交流
- 神山自然公園清掃活動、さつき学園窓清掃、駒門パーキングエリアの花壇管理
- ゲートゴルフでの交流会（大坂シニアクラブ）、地域の講師を招き作品作り（フラワーアレンジメント）

〈御殿場高等学校〉（平成 17 年 4 月 1 日～）

- フジ虎ノ門整形外科病院にて介護職のインターンシップ（2 年生 1 人・2 日間）
- 御殿場特別支援学校、保育園との交流
- 献血啓発活動

〈御殿場南高等学校〉（平成 17 年 4 月 1 日～）

- 介護講話
- SDGs フードバンク活動（1 年生）、赤い羽根募金活動（生徒会）、献血活動
- 地域での訪問交流活動（吹奏楽部演奏ほか）

〈御殿場西高等学校〉（平成 17 年 4 月 1 日～）

- 認知症カフェへの訪問（スクールドッグを連れて行った）
- さくら学園さくら祭に参加（ダンス部）
- 献血活動の推進

(3) 第 43 回サマーショートボランティア活動計画事業協力

区分	令和 6 年度	令和 5 年度
参加者（市民）	58 人（男 8・女 50）	70 人（男 18・女 52）

25 ふれあい福祉相談

地域住民が抱える課題や問題の早期発見と、課題解決に向けた相談体制を整備するため、ふれあい福祉相談センター事業の充実を進めた。

(1) 結婚相談事業の強化

- ・独身男女に出会いの場を提供することを目的として「ボードゲーム婚活」、「クリスマス婚活」を開催した。
- ・45歳以上の独身男女の出会いの場を設けることを目的として「大人の婚活パーティー」を開催した。
- ・独身男女が気軽に参加できる出会いと交流の場「婚活フリースペース」は、内容を婚活情報提供に代えて開催した。（平成26年8月から毎月1回開催）

(2) 相談事業のPR

- ・社会福祉協議会ホームページにおける情報発信、広報ごてんば・FMごてんば・市政カレンダーへの掲載、新聞記事掲載等、地域住民への周知に努めた。

(3) 関係機関との連携

- ・地域包括支援センター、成年後見支援センター、行政等の関係相談窓口等との連携強化に努めた。

ふれあい福祉相談センター相談員

相談内容	相談員氏名		
コーディネーター	近藤左由美		
こどもすこやか相談	勝又順子	伴野知恵	佐藤恵子
	富田真弓	小松正江	内山一世
	石田あや子	江藤信子	勝間田なをみ
	鈴木治子	横山美智代	
心身障害者相談	加藤朝久	勝又功二	外山富士子
	井坂玲子	川口裕子	村本光子
	國武弘子		
結婚相談	小林真由美	勝又和代	田中壮一
心配ごと法律相談	杉山成一	芝原浩一	

相談実績

(単位：件)

相談事項		令和 6 度			令和 5 度 計
		相談センター	他部門	合計	
1	生計	3	137	140	130
2	年金	0	0	0	0
3	職業・生業	6	0	6	0
4	住宅	2	0	2	0
5	家族	25	0	25	49
6	結婚	358	0	358	346
7	離婚	8	0	8	6
8	健康・衛生	4	0	4	0
9	医療	3	348	351	159
10	精神衛生	21	124	145	38
11	人権・法律	72	426	498	523
12	財産	2	0	2	0
13	事故	0	0	0	0
14	児童・母子	5	0	5	0
15	教育・青少年	14	0	14	0
16	心身障害	13	0	13	
17	母子・父子	2	0	2	3
18	高齢者	24	1575	1,599	2,364
19	ボランティア	0	978	978	738
20	苦情	0	4	4	5
21	その他	1	14	15	24
	合計	530	3,606	4,169	4,385

ふれあい福祉相談センター開設内容と曜日

内容	曜日	担当相談員	時間
福祉なんでも相談	毎週月	相談コーディネーター、 事務局職員	10時～16時
こどもすこやか相談	第1・3水	主任児童委員、 相談コーディネーター (11人が輪番)	10時～16時

心身障害者相談		第2・4水	身体・知的障害相談員、 相談コーディネーター (7人が輪番)	13時～16時
家庭なんでも相談		毎週木	相談コーディネーター、 事務局職員	10時～12時
父親相談		受付随時 ・予約制	相談コーディネーター、 事務局職員	
結 婚 相 談	男性相談日	第1金・ 第3日	結婚相談員、 相談コーディネーター (4人が2人ずつ輪番)	13時～16時
	女性相談日	第2土・ 第4金		
心配ごとと法律相談 (定例相談と重なる時は当相談を優先し他の相談は午前実施)		25日 予約制	杉山成一弁護士 芝原浩一弁護士 相談コーディネーター	13時～ 16時30分

26 共同募金運動の推進

住民相互のたすけあいを基調とし、地域福祉の推進を目的として、だれもが住みなれた地域で安心して暮らすことができ、住民が自ら参加する福祉コミュニティづくりへの参加を促し、実現するための多様な活動を財源面から支援する役割を果たすための活動を行うことを目的として、寄附金の募集、管理、配分の総合的調整を行い、その向上、発展を図った。

(1) 赤い羽根共同募金【令和6年10月1日から12月31日まで】

■目標額と実績額

(単位：円)

区分	令和6年度			令和5年度		
	市目標額	実績額	達成率	市目標額	実績額	達成率
戸別募金	4,630,000	4,503,510	97.3%	4,620,000	4,627,700	100.2%
大口募金	3,340,000	3,243,965	97.1%	3,430,000	3,339,599	97.4%
職域募金	920,000	1,061,510	115.4%	920,000	913,284	99.3%
街頭募金	110,000	119,076	108.3%	50,000	109,019	218.0%
学校募金	100,000	154,460	154.5%	100,000	81,684	81.7%
合計	9,100,000	9,082,521	99.8%	9,120,000	9,071,286	99.5%

■受配実績

(単位：円)

団体名	内容	受配額
御殿場市社会福祉協議会	令和5年度共同募金助成金	5,707,365
計1件		5,707,365

静岡県共同募金会から事業費として受配した。

(令和5年度助成決定、令和6年度受配分)

(2) 歳末たすけあい運動【令和6年12月1日から12月31日まで】

■目標額と実績額

(単位：円)

区分	令和6年度			令和5年度		
	市目標額	実績額	達成率	市目標額	実績額	達成率
戸別募金		2,353,630			2,367,566	
学校募金		23,050			37,176	
職域募金		1,797,543			1,996,281	
個人団体募金		571,293			705,901	
合計	5,002,000	4,745,516	94.8%	5,500,000	5,106,924	92.8%

■配分実績

(単位：円)

	区分	人員	配分額	令和6年度		令和5年度	
				件数	配分額計	件数	配分額計
世帯配分	低所得世帯	1	10,000	40	400,000	38	418,000
		2	13,000	54	702,000	53	742,000
		3	16,000	83	1,328,000	83	1,411,000
		4	19,000	41	779,000	53	1,060,000
		5	22,000	13	286,000	16	368,000
		6	25,000	5	125,000	1	26,000
		7	28,000	3	84,000	3	87,000
		8	31,000	1	31,000	1	32,000
		9	34,000	0	0	0	0
小計				240	3,735,000	248	4,144,000
事業費	国立駿河療養所自治会		90,000	1	90,000	1	90,000
	神山復生病院自治会		50,000	1	50,000	1	50,000
	地域活動事業		50,000	6	300,000	6	300,000

配 分	(子育てサロン)					
	地域支援事業(居場所)	20,000	15	300,000	14	180,000
	地域支援事業 (子ども食堂)	20,000	0	0	0	0
	小計		23	740,000	22	720,000
合計			263	4,475,000	270	4,864,000

※歳末たすけあい募金の余剰金 270,516 円は静岡県共同募金会に送金し、次年度の助成金として、御殿場市の地域福祉のために活用される。

※世帯配分は、1世帯当たりの支給額を前年度より 1,000 円減額して配分を行った。

27 団体活動の支援

(1) 御殿場市老人クラブ連合会

支部：6 支部 単位クラブ：41 クラブ 会員：3,429 人

連合会長：1 人 副会長：7 人 常任理事：15 人 監事：3 人

活動推進指導員：14 人 評議員：58 人 女性部会長：1 人

女性支部長：6 人

会議

総会（年 1 回）、評議員会、正副会長会、常任理事会、

女性部研修会（年 2 回）、委員会（総務、社会、保健体育、趣味娯楽、広報）

は、必要に応じ随時開催

事業

健康増進、スポーツ活動の推進、文化教養講座への参加推進、

自主事業（コーラス）、趣味・娯楽同好会への参加推進、友愛訪問活動、

地域作りの推進、募金活動、交通安全運動、社会奉仕活動、親睦交流会等

主要行事

実施日	事業名
4 月 9 日	総会（128 人）
6 月 5 日	グラウンドゴルフ大会
7 月 17 日	シニアクラブ大会
9 月 20 日	社会奉仕の日参加（41 クラブ）
9 月 30 日	輪投げ大会
10 月 17 日～18 日	評議員・女性部合同研修旅行

11月7日	スポーツ大会
-------	--------

(2) 御殿場市遺族会

静岡県遺族会と連携し、戦没者の顕彰高揚を図り、かつ遺族相互の扶助、親睦を図ることを目的として実施した。

6支部（御殿場・富士岡・原里・玉穂・印野・高根）及びしゃが乃会会員

遺族世帯 629戸

英霊 724柱

役員 会長1人・副会長2人・理事10人・監事3人・評議員16人・顧問3人

事業

- ・慰霊事業 支部慰霊祭、英霊の顕彰高揚
- ・遺族援護事業 処遇運動
- ・しゃが乃会研修及び育成事業
- ・語り部資料編集事業協力
- ・理事会等を随時開催

役員会、理事会4回（6月、9月、11月、3月）

三役会1回（1月）

- ・富士仏舎利塔庭園奉仕作業5回実施

主要事業

月日	事業名	月日	事業名
4/10	役員会	8/15	全国戦没者追悼式 (会長ほか4人参加)
4/26	県戦没戦災死者春季追悼式 (28人参列)	9/3	千鳥ヶ淵墓苑、靖国神社参拝事業 ※台風のため中止
7/25	富士仏舎利塔第61周年記念法要 (23人参列)	10/23	県戦没戦災死者秋季追悼式 (25人参列)
8/13	万灯みたま祭 (73人参列)	11/7 ~9	沖縄「静岡の塔」追悼式

(3) 心身障害児（者）福祉協議会

それぞれ異なる障害を持った方々とその父母が相互に協力し、福祉向上を図った。

○市（社会福祉協議会分を含む。）活動費助成（配分）

御殿場市手をつなぐ育成会 会員 48人 371,000円

御殿場市肢体不自由児（者）父母の会 会員 27人 229,000円

○2 団体交流事業 ※中止

感染症の流行拡大が懸念されたため、開催を見合わせた。

(4) 御殿場市ボランティア連絡協議会

ボランティア活動に関する連絡調整・情報交換等をおこない、社会福祉の向上に寄与することを目的として各種活動を展開した。(27 団体 6 個人 合計 1,500 人)

■全体会の開催

月日	回数	主な協議事項	出席
4月20日(土)	第220回全体会 (総会)	R5 事業報告・決算、役員選任、R6 事業計画・予算等について	21人
6月15日(土)	第221回全体会	「みんなのわNo.60」編集団体の確認、ふれあい広場、クリーンアップ作戦、ふれあい交流会、東部交流会等について	17人
8月17日(土)	第222回全体会	「みんなのわNo.60」発行について	15人
10月19日(土)	第223回全体会	ふれあい広場、クリーンアップ作戦、リーダー研修、懇親会等について	14人
12月21日(土)	第224回全体会	オープンハウス、障害者週間展示、ふれあい交流会、東日本大震災復興支援、市災害V本部立ち上げ訓練参加、研究集会、「みんなのわNo.61」編集団体等について	15人
2月15日(土)	第225回全体会	ふじのくに災害VC養成講座、リーダー研修	15人
3月15日(土)	理事会	R6 事業計画について	10人

■広報紙「みんなのわ」(A3二つ折4頁フルカラー)の発行

第60号

発行：令和6年8月17日(土)

担当：御殿場市手をつなぐ育成会、市婦連福祉グループ、
精神保健福祉会つくし会、社会福祉法人ふじの郷さつき学園

第61号

発行：令和7年2月15日(土)

担当：要約筆記サークルさくらんぼ、社会福祉法人ステップ・ワン、

御殿場市退職公務員連盟、K a n o n

■第 41 回御殿場市ふれあい広場への参加

日 時：令和 6 年 9 月 28 日（土）

場 所：御殿場市民交流センター「ふじざくら」

内 容：行事 P R ・射的ゲーム・アートバルーン・手芸教室作品、東日本大震災
復興支援物品販売

■クリーンアップ作戦

日 時：令和 6 年 10 月 13 日（日）

場 所：国道 246 号・国道 138 号交差点付近

内 容：国道主要交差点付近の清掃活動

■ふれあい交流会

日 時：令和 6 年 10 月 26 日（土）

場 所：国立中央青少年交流の家

内 容：室内レクリエーション、グラウンドゴルフ、
ボランティアと障害当事者の交流、会食、アトラクション、パン食い競
争等

■災害ボランティア本部立ち上げ訓練への協力

日 時：令和 6 年 1 月 17 日（金）午後 1 時から 3 時まで

場 所：御殿場市民交流センター「ふじざくら」

参加者：ボランティア連絡協議会会員ほか（約 70 人）

内 容：災害ボランティア活動疑似体験

■ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座 共催

日 時：令和 7 年 3 月 6 日（木）午前 10 時から午後 3 時 30 分まで

場 所：御殿場市民交流センター「ふじざくら」

受講者：ボランティア連絡協議会会員ほか（20 人）

内 容：第 4 次地震被害想定、避難所運営ゲーム H U G の概要説明及び疑似体験
災害とボランティアについて

■ボランティアリーダー研修会

日 時：令和 7 年 3 月 13 日（木）午前 8 時 30 分から午後 4 時まで

場 所：国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

受講者：ボランティア連絡協議会会員ほか（14 人）

内 容：加盟団体及び担当者のスキルアップを目的として視察研修等

■東日本大震災復興支援に関する取組み

東日本復興支援を目的とし、岩手県産海産物の購入斡旋

■社会福祉協議会ボランティアコーディネーターの派遣（93回）

日 時：毎週月・水曜日 午前10時30分から午後2時30分まで

場 所：御殿場市民交流センター「ふじざくら」

■社会福祉協議会ボランティア定例相談日へ相談員の派遣（12回）

日 時：毎月第2土曜日 午前10時から12時まで

場 所：御殿場市民交流センター「ふじざくら」

■その他の事業

月日	事業名	場所
7月6日（土）	東部ボランティア交流会	サンウェル沼津
10月20日（日）	元気わくわく参加	御殿場市民交流センター 「ふじざくら」
11月29日（金） ～12月13日（金）	障害者週間展示参加	御殿場市民交流センター 「ふじざくら」
1月18日（土）	東部ボランティア交流会	サンウェル沼津
3月1日（金）	懇親会	YMCA 東山荘

28 その他

(1) 実習生受入れ状況

目的（資格）	延べ人数	延べ日数	依頼元
社会福祉士	0人	0日	
介護支援専門員	—	—	
看護師	15人	6日	御殿場看護学校
合計	15人	6日	
令和5年度	13人	29日	

(2) 苦情解決制度の設置

社会福祉法第82条の規定に基づき、福祉サービス、受付相談業務の利用者、親族、及び利用者に関係する人からの意見、要望、苦情等の適切な解決を図ることを目的に実施した。

①苦情解決体制

苦情解決責任者 事務局長、介護事業課長

苦情受付担当者 事務局（地域福祉課） 1人 地域包括支援センター 1人
 居宅介護支援事業所 1人 ホームヘルパーステーション 1人
 デイサービスセンター 1人 生活介護事業所 1人
 交流センタースタッフ 1人

苦情解決第三者委員 2人（社会福祉協議会監事2人兼務）

②申し出の概要（意見・要望件数／苦情件数）

	地域福祉	介護保険	生活介護	交流センター	計
職員の対応に関する事	1/0	0/4			1/4
情報提供・公開に関する事					0/0
事業・サービスの内容に関する事		3/0			3/0
サービスの連絡調整に関する事		1/0			1/0
施設・備品の修繕に関する事				6/0	6/0
その他		2/0		1/0	3/0
令和6年度受付件数計	1/0	6/4	0/0	7/0	14/4
令和5年度受付件数計	0/0	0/2	0/0	4/0	4/3

③対応の概要

要望として日常業務の範囲内で対応	17
苦情受付担当者・事業所内での対応	1
苦情解決責任者による対応	0
苦情解決第三者委員会への提出	0

(3) サービス向上の取組

①各種会議の実施

業務の進捗状況の確認、各種情報の共有、課題の検討等のため職責に応じた会議を毎月実施した。

- ・所属長会議 市民交流センター内組織の長による情報共有
 社会福祉協議会事務局長、シルバー人材センター所長、交流センター施設長、子ども家庭センター所長、市民活動支援センター所長

- ・管理者会議 社会福祉協議会組織内の情報共有
社会福祉協議会会長、事務局長、地域福祉課長、地域包括支援センター所長、介護事業課長、交流センター統括
- ・統括会議 介護事業課内の情報共有（虐待防止委員会、感染症対策委員会を兼ねる。）
介護事業課長、居宅介護支援事業所統括、ホームヘルパーステーション統括、デイサービスセンター統括、生活介護事業所施設長

②介護保険事業及び障害福祉事業に関わる職員の資質向上のため、各事業に共通する事項について法定研修として定期的な研修を実施した。

10/23 感染症の予防・蔓延防止について

11/20 虐待防止、身体拘束防止について

12/18 倫理、法令遵守、プライバシー保護、ハラスメントについて

1/22 事故対応・予防・再発防止、緊急時対応、非常災害時の対応について

2/19 接遇、認知症ケアについて

③業務継続計画（自然災害、感染症対策）について、計画の見直し、職員に関する研修・訓練を実施した。

IV 令和7年度事業計画

基本方針

社会福祉協議会は、社会福祉法に「地域福祉を推進する団体」として規定され、四半世紀が経過しました。この間様々な活動を展開してまいりましたが、昨今の物価高騰、高齢化の進行や家族形態の変化に伴い、社会福祉協議会を取り巻く環境は極めて厳しいものがあります。

本会は、令和7年度も引き続き「地域共生社会」の実現に向け、今日的福祉課題の解決に取り組んでまいります。

国が目指すべき社会として掲げる「地域共生社会」は、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会をいいます。これは、社会福祉協議会が従来から取り組んできた「地域福祉」の推進そのものと言えます。

地域福祉事業では、地域担当職員を配置し、社協が持つ「住民ニーズの把握機能」「連携・協働の促進、組織化機能」「福祉活動・事業の企画・実施、提案、支援機能」等を存分に発揮することで、各地域に即した移動支援サービスを始めとした生活支援・介護予防サービスの創出に努めます。

また、御殿場市から成年後見制度の利用促進のための中核機関業務を受託し、高齢者や障害者の権利を守り、その人らしい生活を送ることができるよう、支援体制の構築を図ります。

さらに、包括的相談支援体制整備事業として、相談支援に係る事業を一体として実施し、本人・世帯の属性に関わらず受け止める「断らない相談支援」の実施、多様な「社会参加」に向けた支援の実施、「地域やコミュニティにおけるケア・支え合う関係性の育成支援」に取り組んでまいります。

在宅福祉事業では、地域包括ケアシステムの推進に努めます。社会福祉協議会が介護保険事業を担う意義は、サービスの提供をきっかけに、個人や世帯が抱える諸問題を発掘し、他の制度や事業、市民協働の支援活動につなぐなど、地域での暮らしを支えるネットワークを構築することにあります。引き続き、在宅福祉事業と地域福祉事業の連携を進めます。

また、自立支援・重度化防止に向けた支援、虐待や身体拘束防止の取り組み、自然災害・感染症等発生時における計画に基づいた対策の実施、業務継続体制の充実に努めます。

さらに、良質な介護サービスの効率的な提供に向けて、働きやすい職場づくりや必要な体制整備を進めるとともに、利用者に選ばれる事業所として、継続してサービスの充実、職

員の資質向上に努めます。

継続して、利用者の獲得、適切な人員配置、業務効率化等により、経営の安定化に努めます。

生活介護事業所あけぼのは、開所日を増やしての運営を継続し、今後とも利用者の安全安心を第一に、利用者のニーズに合わせた支援を行い、喜ばれる施設として努力してまいります。

市民交流センターは、令和5年度から9年度までの5か年の指定管理を継続して指定を受けることができたため、より多くの方に利用していただき、利用者に満足していただける施設として、たゆまぬ努力をしてまいります。

第5次地域福祉活動計画において基本理念として掲げる「地域でつながり、だれもが笑顔あふれ、安心して、いきいき暮らせるまち」を推進する組織として、社会福祉協議会の積極的な事業の展開が期待されています。これらに応えられるよう、職員一人一人の力を結集し、一丸となって事業を推進してまいります。

重点目標

1. 移動支援サービス（生活支援サービスなどとの一体運送を含む。）の創出
2. 成年後見事業（市民後見人の養成、活動支援を含む。）の推進
3. 包括的相談支援体制整備事業の実施
4. 第5次地域福祉活動計画の推進
5. 経営事業体としての組織体制整備と財政基盤の強化

事業活動

1 組織の強化と財政基盤の確立

市内全戸を会員とし、地域団体や福祉団体等の代表者と行政機関からの選出者によって役員会を組織し、その運営を行う。

また、社会福祉協議会の自主性と主体性を高めるため、財政基盤の確立に努める。

(1) 組織の強化

- ①理事会の開催（5月，6月，8月，2月，3月）
- ②評議員会の開催（4月，6月，9月，12月，2月，3月）※4月，12月は書面協議
- ③評議員選任・解任委員会の開催（5月，6月，2月ほか随時）
- ④監査の実施
 - ・決算監査（5月）
 - ・定期監査（1月頃）

(2) 自主財源の確保

- ①普通会員・賛助会員・特別会員の加入促進
- ②寄附金品の受入れ及び広報強化
- ③飲物自動販売機の設置
- ④バザー機器の貸出し

(3) 経営事業体としての組織体制整備と財政基盤の強化

2 第5次地域福祉活動計画の推進

令和4年度から8年度までの5か年を計画期間とする中期計画「第5次御殿場市社会福祉協議会地域福祉活動計画」に従って事業を実施する。

- (1) 年次評価を実施し、各事業の目標点数を4点以上として進捗管理を行う。
- (2) ヒアリングの実施による事業の適正化

3 調査研究活動

当市における地域福祉推進に資するため、効果的かつ先駆的に行われている他市町村の福祉活動等の把握に努めるとともに、計画的に研修を行うことで役員及び職員の資質向上を図る。

- (1) 役員研修及び職員研修の充実強化

- (2) ボランティア関係者等の研修又は連絡会の開催

4 啓発活動の推進

地域住民に「福祉」をより身近に感じていただけるよう、福祉関係情報を発信し、福祉に関する啓発行事を定期的に行う。

- (1) 地域住民の視点で親しみやすい広報紙「ごてんば社協だより『ひだまり』」を発行する。
- (2) 事業パンフレット作成等多様な広報手段による有効なPRの実施
- (3) 御殿場市社会福祉協議会ホームページの充実（アドレス <http://gosyakyo.jp>）
- (4) 社会福祉協議会情報、学校活動情報等を配信
- (5) 福祉制度・福祉サービス、福祉課題・生活課題等の情報発信
- (6) 地域住民にとって利用しやすい福祉機器展示コーナーの充実
- (7) ノーマライゼーション（障害者や高齢者がほかの人々と等しく生きる社会・福祉環境の整備、実現を目指す考え方）活動を進める福祉機器等備品の貸出し
- (8) 「ふれあい広場」を開催し、住民参加によるふれあいと地域住民の福祉意識高揚を図る。

令和7年9月27日（土）開催予定

- (9) 「社会福祉大会」を開催し、福祉功労者の表彰等を通して、地域住民の福祉意識高揚と福祉向上を図る。

令和7年10月4日（土）開催予定

- (10) 介護の日、障害者週間等の福祉週間・記念日に関連した事業を当事者団体、ボランティア等と協働で開催し、地域住民の福祉意識高揚を図る。

※赤い羽根助成事業「障害者週間等啓発」

5 児童福祉活動

次世代を担う子供たちの福祉増進を目的として、団体等に対する助成及び準要保護世帯に対する援助を行う。

- (1) 交通遺児家庭に対する訪問激励
- (2) 保育の会活動の助成
- (3) 子ども会世話人連合会、認可外保育施設による地域ふれあい事業の助成

※赤い羽根助成事業「市子連地域ふれあい」

- (4) 公民館等公共の広場の児童遊具整備と修理費助成による快適利用と事故防止

※赤い羽根助成事業「児童遊具整備」

- (5) 準要保護家庭児童に対する小・中学校入学祝金支給
 ※赤い羽根助成事業「準要保護家庭児童小・中学校入学祝金支給」
- (6) 中学校卒業就職者に対する激励
 ※赤い羽根助成事業「中卒就職生激励」
- (7) 子ども食堂担い手養成講座の開催
- (8) 子ども食堂の運営支援

6 低所得者世帯・罹災世帯等への福祉活動

低所得世帯等に対して福祉資金の貸付け、配分及び支給を行うとともに、必要な援助指導を行うことにより、経済的自立並びに生活意欲の助長及び促進を図る。

- (1) 生活福祉資金の貸付け並びに生活指導及び償還指導
- (2) 小口資金の貸付け並びに生活指導及び償還指導
- (3) 特別支援金の給付及び生活指導 ※新規事業
- (4) 災害・火災等の罹災世帯への見舞金支給
- (5) 旅費欠乏者に対する援護

7 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者に対して、就労支援を含めた包括的かつ継続的な支援を実施し、多様な問題を抱えた支援対象者の自立を促進する。

- (1) アウトリーチ（英語で「手を伸ばすこと」を意味する言葉で、積極的に対象者の居る場所に出向いて働きかけること）による生活困窮状態にある方の早期把握
- (2) 相談者の課題とニーズに応じた自立支援計画の作成と支援調整会議の実施
- (3) 生活改善、就労支援、家計再建、福祉サービス等の利用調整に関する相談及び包括的・寄り添い型の継続支援の実施による生活困窮状態からの早期自立支援
- (4) 住居確保給付金の受付及び相談業務の実施
- (5) 「住まい相談支援員」配置による居住支援の実施 ※新規事業
- (6) 出張窓口での被保護者家計改善支援の実施 ※新規事業
- (7) 「フードバンクふじのくに」との連携及び年間を通してフードドライブの実施
- (8) 包括的相談支援体制整備事業の実施
 - ①連携担当職員を配置し、他機関連携による相談支援の調整
 - ②アウトリーチ支援員を配置し、支援対象者のニーズに応じた訪問、伴走支援の実施
 - ③地域づくりに関するニーズの把握

8 高齢者生活支援体制整備事業

多様な機関、団体等により構成される協議体を設置し、当市の生活支援・介護予防サービスの充実に資するとともに、生活支援コーディネーターを推進役として配置し、ボランティア等による生活支援の担い手養成、地域資源の開発及びネットワーク化に努める。

(1) 第1・2層生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置

多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動の推進を図るとともに、小地域単位でのワークショップを展開する。

①資源開発

※赤い羽根助成事業「生活支援等サービス開発」

- ・地域に不足するサービスの創出（移動支援・生活支援サービスなどとの一体運送）
- ・サービスの担い手の養成（福祉車両運転者講習会・居場所担い手養成講座・住民参加型支援員研修）
- ・元気な高齢者などがサービスの担い手として活動する場の創出（男性ボランティア養成講座）

②ネットワークの構築

- ・関係者間の情報共有（包括センター長会議・包括ケア会議・包括ケア個別会議への出席）
- ・サービス提供者間の連携体制整備

③ニーズと取組のマッチング

- ・地域の支援ニーズとサービス提供者の支援活動のマッチング形成

(2) 協議体の運営及び支援

多様な関係者間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進する。

①第1層協議体（市域）の運営

②第2層協議体（各地域福祉推進委員会）の運営支援

9 高齢者福祉活動

高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、社会福祉法人、地域包括支援センター等の協力を得て、健康状態の確認、困りごとに対する相談支援を行い、高齢者の孤立防止に努める。また、シニアクラブ御殿場市事業を助成する。

- (1) ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会の開催
 - (2) シニアクラブ御殿場市による地域ふれあい事業の助成
- ※赤い羽根助成事業「市老連地域ふれあい」

10 福祉車両及び福祉機器等貸出事業

高齢者等の在宅生活を支えるため、福祉機器貸出し等の事業を実施する。

- (1) 車椅子リフト車両貸出しと運転ボランティアによる運行
- (2) 車椅子貸出し
- (3) 福祉教育用教材貸出し
- (4) 介護機器、福祉用具等のあっせんとアフターサービス紹介

11 地域包括支援センター事業（菜の花）

法人の事業計画に則り「地域共生社会」を目指す。玉穂地域、高根地域の高齢者等が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域包括ケアシステムの推進を図る。

- (1) 高齢者や家族等の相談を24時間対応で受け付け、訪問等で生活実態を把握し、必要なサービスの提供等を支援する。
- (2) 玉穂地域、高根地域の高齢者見守りネットワーク会議を開催し、地域における様々な関係者のネットワークの構築を図る。
- (3) 複数の問題を抱えた高齢者等に対し、権利擁護に基づいた支援を行い、虐待や消費者被害等の未然防止に努める。また、日常生活自立支援制度、成年後見制度を活用する。
- (4) 地域の関係機関の連携や介護支援専門員に対する支援により、包括的・継続的なケアマネジメント体制の構築を図る。
- (5) 地域ケア会議を随時開催し、地域の課題を分析、集約し、各関係機関と連携して社会資源の創出に寄与する。
- (6) 在宅医療と介護の一体的な提供ができるよう、医療・介護関係者の連携に努める。
- (7) 認知症初期集中支援チームや、認知症サポート医、認知症サポーター等との連携により認知症の人の早期発見、対応や地域での理解の啓発に努める。
- (8) 予防給付や総合事業の対象者に効果的かつ効率的に提供される適切なマネジメントを行う。
- (9) 閉じこもりの要因となる尿失禁の予防・改善の教室を開催する。

1 2 居宅介護支援事業（ケアプラン作成事業）

在宅での生活を希望し要介護認定を受けた方が、介護保険のサービスを利用し、居宅において個々のニーズに合わせた保健・医療・福祉サービスが適切に利用できるよう介護保険法に基づき居宅介護計画（ケアプラン）を作成し、利用者に提供する。

- ①介護計画作成における、職員のマネジメント力向上のための研修の継続と業務効率化の推進
- ②介護保険を含む高齢者からの総合的な相談への対応と、利用者を中心とした家族支援・地域支援の視点を持ったケアマネジメントの推進
- ③地域包括ケアの推進を踏まえ、医療・行政・介護サービス事業所・関係専門職等地域の関係者が参加する、多職種連携による支援体制構築のための研修会等の実施
- ④地域包括支援センターとの連携による利用者支援と地域ケア会議の活用を通し、地域の潜在的課題の解決を図る。
- ⑤地域（玉穂、高根）の高齢者見守りネットワークの活用を図る。
- ⑥御殿場市及び他市区町村からの介護保険認定調査の受託、実施
- ⑦高齢者虐待防止活動への参加
- ⑧保健所や福祉事務所、病院等と連携し障害者の在宅生活の支援に協力
- ⑨他事業所と連携して収益の向上に努める。
- ⑩主任介護支援専門員の責務として、介護支援専門員の資質向上のための研修、他事業所との合同事例検討会、助言等による支援の実施
- ⑪特定事業所の責務として、介護支援専門員資格取得を目指す個人を対象に、法定研修内の実務見学実習希望の受入れを率先して実施し、介護支援専門員養成に貢献する。

1 3 訪問介護事業（ホームヘルプサービス事業）

要介護者・要支援者の家庭にホームヘルパーを派遣し、利用者本人が可能な限り住み慣れた自宅で自分らしく日常生活を送れるよう、又は介護をしている御家族の負担を軽減するために必要な支援を行う。

- ①職員の資質向上のための内外研修を実施し、サービスの向上と技術向上を図る
- ②利用者のニーズに合わせた柔軟なサービス提供の継続
- ③在宅介護サービス事業者、医療関係者等、多職種の連携による、介護状態の重度

化の予防と在宅生活の維持・継続に向けたサービス提供の推進

- ④支援困難ケースの受入れと対応技術向上の継続
- ⑤法人内外の居宅介護支援事業所等との連携による利用者の確保と経営の安定化の追求

1 4 通所介護事業（老人デイサービスセンター事業）

介護保険法の趣旨に従って、利用者が可能な限り在宅で日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図るとともに、利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的として事業を実施する。

- ①職員の資質向上のための内外研修を実施し、サービスの向上と技術向上を図る。
- ②利用者個々のニーズと、集団支援・個別支援のバランスの取れた柔軟なサービス提供の継続
- ③在宅介護サービス事業者、医療関係者等、多職種との連携による、介護状態の重度化の予防と在宅生活の維持・継続に向けたサービス提供の推進
- ④支援困難ケースの受入れと対応技術の向上及びサービス利用中の安全確保対策の充実
- ⑤ボランティアの受入れ、地域との交流、施設特性をいかした多彩な活動の実施と充実
- ⑥法人内外の居宅介護支援事業所等との連携による利用者の確保と経営の安定化の追求

1 5 心身障害児（者）福祉活動

地域社会における共生の実現に向けて、障害福祉サービスの充実を図り、障害者の日常生活及び社会生活を支援する。

(1) 障害者総合支援法に基づく生活介護事業所「あけぼの」事業の実施

- ①各利用者に応じた創作的活動又は生産活動と日中の活動の援助の機会の提供
- ②送迎サービス、入浴サービス及び運動指導の実施と充実
- ③地域に開かれた在宅障害児（者）の福祉拠点とする。
- ④医療ケアの強化
- ⑤日中一時支援事業の実施
- ⑥特別支援学校、相談支援事業所等との連携による新規利用者の確保
- ⑦御殿場・小山自立支援協議会、重度心身障害児（者）に関連する連絡会への参加

- を通じて、在宅重度障害児（者）の支援に向けた多職種連携等の活動に協力する。
- ⑧内外研修への参加、外部アドバイザーによる研修等によるサービスの向上
 - ⑨他施設との連携を強化させることによりサービスの充実を図る。
- (2) 障害者総合支援法に基づく居宅介護事業の実施（ホームヘルプサービス事業）
- ①個々の障害の状況に応じた柔軟なサービス提供の継続
 - ②障害区分に応じた職員研修実施
 - ③障害関係事業所・機関との連携による在宅生活の維持・継続に向けたサービス提供の推進
 - ④相談支援事業所等との連携による利用者の確保と経営の安定化の追及
- (3) 障害当事者団体による地域ふれあい事業の助成

16 御殿場市民交流センター「ふじざくら」指定管理事業の実施

社会福祉協議会を代表団体に、御殿場総合サービス株式会社と公益社団法人御殿場市シルバー人材センターを構成団体とする御殿場市社会福祉協議会グループにより御殿場市民交流センター管理事業を受託し、それぞれの組織の特徴・能力・ノウハウを最大限にいかし、市民サービスの向上に取り組む。

- (1) 指定管理者（社会福祉協議会、総合サービス、シルバー人材センター）と子ども家庭センター、市民活動広場ふらっと御殿場等、関係機関との協働による施設事業の充実
- (2) 利用者ニーズの把握とニーズに沿った柔軟なサービス対応
- (3) 費用対効果を高めた効率的な管理運営
- (4) 福祉施設の自立支援活動と協働した福祉情報コーナーと無人販売コーナーの継続
- (5) 軽食・喫茶コーナーの運営助成
- (6) 市民の総合交流と児童・高齢者・障害者・地域福祉活動の向上を図るための事業の実施
 - ①利用しやすい貸館・管理業務
 - ②市民交流事業の実施
 - ③社会福祉事業の実施
 - ④施設活性化事業の実施
 - ⑤市と提携した事業の実施
 - ⑥自衛隊との交流事業の実施
- (7) 「ふじざくらつうしん」の発行、施設ホームページ、SNSを活用した広報の充実

17 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等、判断能力が低下している方に対して、その方ができるだけ自立して地域生活が送れるよう、日常的な金銭管理や福祉関連サービスの利用契約支援、権利侵害からの見守りなどを行う。

- (1) 専門員及び生活支援員の資質向上
- (2) 事業説明会の開催

18 成年後見事業（御殿場市成年後見支援センター事業）

成年後見事業により、高齢者、障害者等の財産管理と身上監護を実施するとともに、権利を擁護し、その人らしい生活の実現を支援する。

また、中核機関として市民後見人の養成、活動支援等を行う。

- (1) 法人後見の受任
- (2) 法人後見等支援員業務の機会提供
- (3) 任意後見制度に関する調査研究
- (4) 御殿場・小山後見制度地域連携ネットワーク協議会の開催

19 母子父子福祉活動

ひとり親家庭等の親子の福祉増進を目的として、交流事業や経済的支援を行う。

- (1) 母子福祉団体活動への助成
- (2) フードドライブ等による食糧支援の実施

20 地域福祉活動

各地域福祉推進委員会及び支部組織活動の充実を図るため、地区担当職員を配置し、事業の立案、情報提供、関係機関との連絡調整等の支援を行う。

- (1) 印野地域福祉推進委員会（昭和 63 年 3 月発足）の運営支援
- (2) 玉穂地域福祉推進委員会（平成 3 年 11 月発足）の運営支援
- (3) 高根地域福祉推進委員会（平成 5 年 3 月発足）の運営支援
- (4) 原里地域福祉推進委員会（平成 5 年 11 月年発足）の運営支援
- (5) 富士岡地域福祉推進委員会（平成 7 年 1 月発足）の運営支援
- (6) 御殿場地域福祉推進委員会（平成 30 年 1 月発足）の運営支援
- (7) 地域福祉推進委員会への地区社協育成費助成

- (8) 地域福祉推進委員会への地域福祉推進活動事業費助成
- (9) 地域福祉推進委員会を対象とした地域福祉研修・連絡会の開催
- (10) 地域福祉活動団体事業の助成
- (11) 共同募金運動推進団体事業の助成
- (12) 住民参加型生活支援事業（地域住民の参加と協力による住民相互の会員制の支え合いのしくみ・有償ボランティア活動）の実施

2 1 ボランティア活動

地域住民のボランティア活動への関心を高め、その活動を助成し、組織化することで地域福祉の推進を図る。

- (1) ボランティア活動保険加入促進と助成
- (2) ボランティア活動に関するPRと活動の普及
- (3) ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア相談の充実を図る。

（毎週月～金曜日、毎月第2土曜日）

- (4) ボランティア連絡協議会への活動助成及び協働事業の実施

※赤い羽根助成事業「ボランティア活動」

- (5) ボランティア活動推進のための各種入門講座や研修会の開催

- ①ミニ手話教室
- ②朗読ボランティア養成講習会
- ③要約筆記ボランティア養成（補助）講座「きこえ（聴覚障害者）の相談室」
- ④小学生福祉体験

※赤い羽根助成事業「高齢者ささえあい見守り啓発」

- ⑤中高生福祉体験

※赤い羽根助成事業「子ども食堂ささえあい見守り啓発」

- ⑥親子福祉体験

※赤い羽根助成事業「障害者ささえあい見守り啓発」

- ⑦ふれあい会食サービス事業研修
- ⑧ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座

※赤い羽根助成事業「災害時支援ボランティア研修会」

- (6) ボランティアビューロー・市民活動室の効果的な運営のため、ボランティア連絡協議会、市民活動コーディネーター及び関係団体との連携強化

2 2 災害時の支援活動

「災害ボランティア本部」の設営と運営シミュレーションを行うことにより、それぞれの役割と連携の確認及び課題の整理を行い、有事に備える。

また、静岡県社会福祉協議会との相互支援協定に基づき、被災地災害ボランティアセンターの運営支援に当たる。

- (1) 災害ボランティア本部立ち上げ訓練の実施
- (2) 被災地災害ボランティアセンターの運営支援

2 3 福祉団体との連携

市内の社会福祉法人等の参画を得て、多種多様な組織や人材の特性をいかし、地域課題の解決等に取り組む。

- (1) ごてんば福祉施設協働事業「絆（わ）」の実施（会議及び研修会の開催）

※赤い羽根助成事業「社会福祉法人連携」

- (2) 花樽の販売協力

2 4 福祉教育の推進

主に小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕の実践と社会連帯の精神を養い、子供を通じて家庭及び地域社会への啓発を図る。

- (1) 市内全学校による福祉教育実践校事業の推進
- (2) 福祉教育実践校研修・連絡会の開催
- (3) サマーショートボランティア活動計画事業への協力

2 5 ふれあい福祉相談

地域住民が抱える課題や問題の早期発見と、課題解決に向けた相談体制を整備するため、ふれあい福祉相談センター事業の充実を図る。

- (1) 相談事業のPR
- (2) 関係機関との連携
- (3) 結婚相談事業の強化
- (4) 各種相談窓口を開設
 - ①福祉なんでも相談（毎週月曜日）
 - ②こどもすこやか相談（毎月第1・3水曜日）
 - ③心身障害者相談（毎月第2・4水曜日）
 - ④父親相談（受付随時・予約制）

⑤結婚相談

- ・男性（毎月第1金曜日、第3日曜日）
- ・女性（毎月第2土曜日、第4金曜日）
- ・婚活セミナー、婚活パーティー開催

⑥心配ごとと法律相談（毎月25日）

26 共同募金運動の推進

住民相互のたすけあいを基調とし、地域福祉の推進を目的として、寄附金の募集、管理及び配分の総合的調整を行う。

- (1) 赤い羽根共同募金（10月1日から12月31日まで）の実施
- (2) 歳末たすけあい運動（12月1日から12月31日まで）の実施
- (3) 共同募金運動創設70周年答申に基づく募金活動推進方策の具体的な取組の推進
 - ①募金活性化のための取組の推進
 - ②定例的な助成など従来助成内容の見直し

27 団体活動の支援

団体の事務局等を担当することで、運営をサポートし、地域住民の福祉向上を図る。

- (1) シニアクラブ御殿場市事務局の受託
- (2) 御殿場市遺族会事務局
- (3) 心身障害児（者）福祉協議会事務局
- (4) 御殿場市ボランティア連絡協議会（東部ボランティア交流会を含む。）支援

28 その他

- (1) 実習生受入れ
- (2) 苦情解決制度の設置

V 令和7年度会計予算の概要

【収入の内訳】

(単位:千円)

科目	金額	構成率	適用
会費収入	11,936	2.16%	住民の皆様・賛助会員・特別会員からの会費
寄付金収入	3,061	0.56%	社会福祉等のための寄附金
経常経費補助金収入	50,899	9.23%	市補助金・県共同募金会配分金
受託金収入	180,171	32.67%	市・県社協受託金等
貸付事業収入	647	0.12%	小口資金貸付金事業償還金
事業収入	12,336	2.24%	交流センター利用料・成年後見報酬・講座参加費等
負担金収入	4,559	0.83%	施設共用設備負担金
介護保険事業収入	168,346	30.53%	介護報酬・利用者負担金等
障害福祉サービス等事業収入	63,350	11.49%	生活介護事業・ヘルパー障害福祉サービス給付費等
受取利息配当金収入	12	0.00%	預金利息
その他の収入	3,033	0.55%	交流センター設備利用料等
基金積立資産取崩収入	14,000	2.53%	介護サービス事業安定基金取崩
前期末支払資金残高	39,119	7.09%	前年度繰越金
収入合計	551,469		

【支出の内訳】

(単位:千円)

科目	金額	構成率	適用
法人運営事業	80,750	14.64%	組織運営
地域福祉活動推進事業	53,059	9.62%	地域福祉・ボランティア・相談センター・生活困窮者・高齢者生活支援体制整備等
在宅福祉推進事業	14,486	2.63%	高齢者福祉・児童福祉・日常生活自立支援・成年後見事業等
共同募金配分金事業	14,145	2.56%	高齢者・障害児者・児童福祉活動・ボランティア活動育成等
小口資金貸付事業	1,077	0.20%	小口資金貸付事業
地域包括支援センター事業	32,642	5.92%	高齢者総合相談・支援・介護予防プラン作成
居宅介護支援事業	50,953	9.24%	ケアプラン作成・要介護認定申請支援
ホームヘルパー事業	29,615	5.37%	高齢者・障害者ホームヘルプサービス
老人デイサービス事業	93,010	16.87%	高齢者通所型日常生活援助・機能訓練
生活介護事業	63,514	11.52%	障害者通所型生活介護事業
御殿場市民交流センター事業	118,218	21.43%	市民交流センター管理運営事業
支出合計	551,469		

VI 社会福祉法人御殿場市社会福祉協議会役員名簿

敬称略

理事定数 10名以上13名以内（13人）

任期 令和7年6月18日から令和9年6月評議員会の終結の時まで

敬称略

職名	氏名	選出基準区分	(所属及び職名)
会長	三井米木	学識経験者	
副会長	佐藤 守	民生委員児童委員協議会	(御殿場市民生委員児童委員協議会会長)
副会長	杉山 仁	区長会	(御殿場市区長会会長)
常務理事	鎌野 晃	学識経験者	(御殿場市社会福祉協議会事務局長)
理事	上道勝人	行政機関	(御殿場市健康福祉部部長)
理事	安田敏男	医師会	(御殿場市医師会会長)
理事	永井伸明	シニアクラブ連合会	(御殿場市シニアクラブ連合会総務委員長)
理事	芹澤恵子	婦人会連絡協議会	(御殿場市婦人会連絡協議会会長)
理事	宇津木丘子	教育機関	(御殿場市立朝日小学校校長)
理事	宮島克利	福祉施設	(御殿場十字の園園長)
理事	黒澤佳壽子	地域福祉推進委員会	(御殿場地域福祉推進委員会委員長)
理事	勝又昌子	地域福祉推進委員会	(富士岡地域福祉推進委員会委員長)
理事	勝俣三郎	ボランティア関係団体	(御殿場市ボランティア連絡協議会会長)

監事定数 2名以内（2人）

任期 令和7年6月18日から令和9年6月評議員会の終結の時まで

敬称略

職名	氏名	選出基準区分	(所属及び職名)
監事	長田光一	民生委員児童委員協議会	(御殿場市民生委員児童委員協議会副会長)
監事	長田憲章	学識経験者	

社会福祉法人御殿場市社会福祉協議会評議員名簿（令和7年6月18日から）

評議員定数 22名以上26名以内（26人）

任期 令和7年6月18日から令和11年6月評議員会の終結の時まで

敬称略

職名	氏名	選出基準区分	(所属及び職名)
評議員	杉山 衛	民生委員児童委員協議会	(御殿場地区民生委員児童委員協議会副会長)
評議員	湯川雅史	民生委員児童委員協議会	(富士岡地区民生委員児童委員協議会会長)
評議員	大庭千夜美	民生委員児童委員協議会	(原里地区民生委員児童委員協議会副会長)
評議員	福島 敏	民生委員児童委員協議会	(玉穂・印野地区民生委員児童委員協議会会長)
評議員	勝間田富味男	民生委員児童委員協議会	(玉穂・印野地区民生委員児童委員協議会委員)
評議員	高木義純	民生委員児童委員協議会	(御殿場市民生委員児童委員協議会副会長)
評議員	勝又欣也	行政機関	(御殿場市教育部部長)
評議員	萩原弘子	地域福祉推進委員会	(原里地域福祉推進委員会委員長)
評議員	芹澤嘉博	地域福祉推進委員会	(玉穂地域福祉推進委員会委員長)
評議員	石田和夫	地域福祉推進委員会	(印野地域福祉推進委員会委員長)
評議員	杉山一好	地域福祉推進委員会	(高根地域福祉推進委員会委員長)
評議員	鈴木雄誠	保護司会	(北駿地区保護司会理事)
評議員	松尾 厚	医師会	(御殿場市医師会理事)
評議員	山崎克裕	区長会	(御殿場地区区長会会長)
評議員	中川修一	区長会	(富士岡地区区長会会長)
評議員	勝間田一雄	区長会	(原里地区区長会会長)
評議員	原 藤夫	区長会	(玉穂地区区長会会長)
評議員	石田眞吾	区長会	(印野地区区長会会長)
評議員	土屋暢一	区長会	(高根地区区長会会長)
評議員	齋藤純子	婦人会連絡協議会	(御殿場市婦人会連絡協議会副会長)
評議員	杉山芳三	商工会	(御殿場市商工会会長)
評議員	内村千春	シニアクラブ連合会	(御殿場市シニアクラブ連合会女性部会長)
評議員	山内 剛	福祉施設	(富岳会理事長)
評議員	勝亦英樹	ボランティア関係団体	(御殿場ライオンズクラブ会長)
評議員	長田 崇	ボランティア関係団体	(御殿場ロータリークラブ社会奉仕委員長)
評議員	江藤光恵	ボランティア関係団体	(御殿場市赤十字奉仕団委員長)

社会福祉法人御殿場市社会福祉協議会評議員選任・解任委員名簿（令和7年6月18日から）

評議員選任・解任委員定数 6名

任期 令和7年6月18日から選任後評議員の改選の前日（令和11年6月）まで

敬称略

職名	氏名	選出基準区分
委員長	勝間田義春	外部委員
委員	横山千枝子	外部委員
委員	青山修二	外部委員
委員	長田光一	監事
委員	長田憲章	監事
委員	齋藤修一	事務局

Ⅶ 御殿場市社会福祉協議会ボランティア団体登録リスト

(令和7年3月現在 56団体)

	グループ名	主な活動内容
1	わらび会	ふれあい給食での調理、認知症カフェでの昼食作り
2	手話サークル わらじ友の会	手話講習活動、情報交換、聴覚障がい者との交流
3	朗読奉仕グループ くらつぐみの会	朗読奉仕活動(朗読CDの編集) 視覚障がい者との交流
4	大坂昭和会	地域美化活動、施設事業に協力、大坂区行事の支援
5	ニューモラル友の会	道德教育の普及、ニューモラル誌の配布
6	御殿場市子ども会リーダーズクラブ	子ども会の手伝い
7	ガールスカウト静岡33団	各種奉仕活動
8	ガールスカウト静岡34団	各種奉仕活動(募金活動・地域行事参加等)
9	御殿場ライオンズクラブ	献血、ふれあい広場参加、ふれあい給食援助
10	御殿場ワイズメンズクラブ	地域社会奉仕
11	国際ソロプチミスト御殿場	女性と女兒の生活の向上
12	社会福祉法人 武蔵野会 さくら学園	地域清掃活動(施設周辺)、職員ボランティア、ボランティア受け入れ。
13	手話サークル あじさい	手話講習活動、聴覚障がい者との交流
14	なでしこ会	施設ボランティア
15	隊友会御殿場・小山支部	災害ボランティア、環境ボランティア(富士山、不法投棄パトロール、花壇等)、ボラ協各種団体のお手伝い等
16	野菊寮(知的障がい者更正施設)	ボランティアの受け入れ、職員ボランティア
17	富岳会(知的障がい者更正施設等)	ボランティアの受け入れ、職員ボランティア
18	御殿場十字の園(特別養護老人ホーム)	ボランティアの受け入れ、職員ボランティア
19	のぞみ作業所(小規模授産施設)	授産品の販売、季刊広報紙(シール貼り、袋入れ)、自動車部品のパーツ組立、軒花作成
20	御殿場市市婦連福祉グループ	福祉施設慰問(作業の手伝い、草取り作業、車椅子での補助)
21	御殿場民踊グループ	福祉施設慰問、老人クラブ・企業・市等の行事への協力
22	桜花会	福祉施設などの行事に日本舞踊で協力
23	御殿場市図書館ボランティアの会	絵本の読み聞かせ、ブックスタート事業協力
24	要約筆記サークル さくらんぼ	要約筆記活動、聴覚障がい者との交流活動
25	旅カラオケ歌謡教室	福祉施設慰問、地域イベント支援、歌唱指導等
26	御殿場市退職公務員連盟	各種奉仕活動
27	社会福祉法人 ステップワン	ボランティアの受け入れ、職員ボランティア
28	御殿場・小山レスキューサポートバイクネットワーク	地震災害時救援活動の支援(情報収集・伝達、安否確認、小物医療品等の搬送)
29	御殿場市手をつなぐ育成会	知的障がい者福祉の向上
30	社会福祉法人 ふじの郷さつき学園	ボランティアの受け入れ(学園のイベント、環境整備等)、自閉症啓発活動
31	社会福祉法人 すぎな むつみ作業所	障害者支援活動、作業所運営、社会的啓蒙活動
32	ツクイ・サンシャイン御殿場	ボランティア受け入れ、職業訓練受け入れ
33	御殿場市登録手話通訳者連絡会	手話通訳活動
34	災害ボランティアコーディネーター御殿場	災害ボランティアに関する啓発、訓練の実施
35	輪来	障がいの有無に関わらない行事の企画
36	NPO富士山御殿場ガイド御厨の風	富士山御殿場地方のガイド活動、勉強会
37	労協御殿場地域福祉事業所つばさ	ボランティア受け入れ(訪問介護、通所介護、放課後児童教室)
38	NPO法人 土に還る木 森づくりの会	森づくり活動を通じて自然環境の保全と環境教育
39	御殿場小山地区精神保健福祉会つくし会	精神保健に関する普及啓発、精神障がい者福祉の増進、会員相互の支えあい
40	NPO法人 富士山の森を守るホンガラスの会	富士山の自然環境を生かした環境教育と地域づくり
41	御殿場市子ども会世話人連合会	子ども会及び世話人相互の情報交換、連絡調整等
42	御殿場市母子福祉会	会員相互の生活向上を目指して 相談会懇親会を開催、環境美化活動、児童の勉強会
43	介護老人保健施設 Kanon	ボランティアの受け入れ、職員ボランティア
44	ボランティア連絡協議会手芸クラブ	手芸を通じた交流、作品売上金の寄附
45	国立中央青少年交流の家	社会教育実習、職場体験、ボランティア活動等の受け入れ
46	日本YMCA同盟 国際青年センター 東山荘	ボランティアの受け入れ、職員ボランティア
47	ひまわり	リハビリの為に体操(保健センター職員協力)
48	御殿場鍼灸マッサージ師会	ボランティア治療
49	うたのサークル びくにつく	高齢者福祉施設を対象とした全員参加型のうたの訪問音楽活動
50	かたみにたすく駿河	散髪ボランティア、講座(詐欺防止、介護、スマホ)、福祉レクリエーション、家事サービス
51	りんごの会	絵本、紙芝居の読み聞かせ、合唱等の活動。
52	(株)スルガケアサービス ANBICおやま	認知症予防のための活動、作品づくり
53	(株)スルガケアサービス 御殿場事業所	認知症サポーター養成講座、認知症予防のための活動
54	御殿場ボランティアガイド協会	ガイド、ガイド育成活動、観光協会のサポート
55	ごてんばボードゲーム遊戯協会	ボードゲームサロンの開催、依頼を受けてボードゲームイベントを行う、新たなボードゲームの創出
56	しずおかkaigoカフェ	kaigoカフェの開催、全国のカフェ運営者ミーティングへの参加、介護に関するイベント・セミナーの企画

御殿場市社協活動

令和6年度報告・令和7年度計画

令和7年7月 印刷

発行 社会福祉法人

御殿場市社会福祉協議会

御殿場市萩原988-1

TEL 0550-70-6801

FAX 0550-89-5501

H. P <http://gosyakyo.jp>

E-mail info@gosyakyo.jp / csw-gotem@po2.across.or.jp

Twitter @gosyakyo
